

平成22年度

# 福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2010

平成22年度

# 福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2010

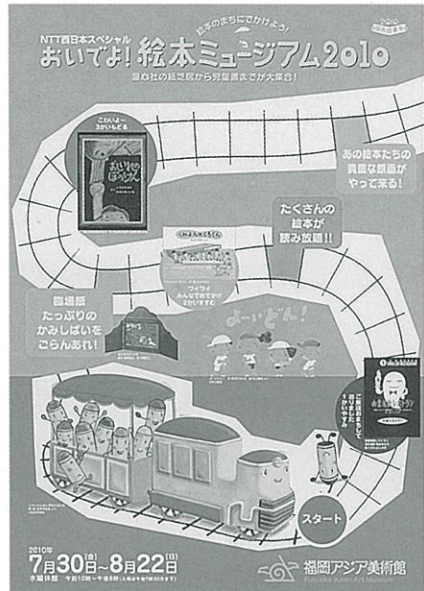
## 目次

■ 展示事業	
1 特別企画展	04
2 小企画展	10
3 コレクション展	11
■ 交流事業	
1 美術交流事業	14
2 教育普及事業	19
3 ミュージアム施策事業	20
4 ボランティア活動	21
5 広報活動	26
■ 所蔵作品	
1 新所蔵作品	28
2 貸出一覧	32
3 修復一覧	32
4 画像掲載一覧	33
■ 入館者数	36
■ 活動記録	40
■ 概要	
1 基本理念	42
2 活動内容	43
3 施設概要	44
4 沿革	48
■ 名簿	49



展示事業

NTT西日本スペシャル  
「おいでよ！絵本ミュージアム2010」  
～絵本のまちにでかけよう！童心社の紙芝居から児童書までが大集合！～



会 期 2010年7月30日(金)～8月22日(日)  
 会 場 企画ギャラリー、彫刻ラウンジ(7階)、あじびホール(8階)、ラウンジM8  
 主 催 福岡アジア美術館、西日本新聞社、NPO法人子ども文化コミュニティ  
 特別協賛 NTT西日本  
 協 力 童心社、NTTコミュニケーション科学基礎研究所、NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]、NTTレゾナント(株)、(株)NTTぷらら、NTTラーニングシステムズ(株)、NTTアイティ(株)、環境デザイン機構、エフコープ生活協同組合、エルマー書店、紙芝居文化の会福岡支部、劇場版「怪談レストラン」製作委員会  
 後 援 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、(財)福岡市文化芸術振興財団、TNCテレビ西日本、TVQ九州放送、九州朝日放送、福岡県私立幼稚園振興協会、福岡県国公立幼稚園協会、福岡県PTA連合会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県教職員互助会、西日本鉄道、九州旅客鉄道、西日本リビング新聞社、cross fm、FM福岡、天神エフエム、LOVE FM  
 開催日数 21日  
 観 覧 者 数 42,807人

本展は、夏休みの特別企画として2007年度から開催している、「絵本ミュージアム」の4回目となるもの。国民読書年である2010年は、子どもが読書に親しむための様々な取り組みがすすめられた。子どもが読書に親しむ入り口に、民話や昔ばなしの語り、紙芝居、絵本、児童書などがある。中でも紙芝居はみんなでいっしょに感動を共有し、共感能力を育むすぐれた文化財である。そこで今回は、「感動の共有・共感」をテーマに、1957年の創業以来50年以上

に渡り、日本の紙芝居文化のパイオニアであり、良質の絵本、児童書を作り続けてきた童心社の世界を紹介した。

企画ギャラリーでは、絵本の世界が飛び出したような空間を作り、童心社のロングセラーである「おしいれのぼうけん」をはじめとする絵本の原画や、各時代・世代に人気となった絵本シリーズなど、乳幼児から児童期までの子どもの成長発達に応じて、親子で楽しめる絵本、児童書、紙芝居を展示した。また、紙芝居出版社として創業した童心社ならではの紙芝居の歴史から舞台の作り方まで紙芝居の魅力を体験学習できるコーナーも設けるとともに、ベトナムやアメリカなどで、「KAMISHIBAI」として、国境や世代を越え共感され親しまれている様子などもパネル紹介した。さらに、先端のデジタル技術を活用した展示で、新しい時代の絵本や離れていてもコミュニケーションできることの楽しさを体感できる展示も行なった。

ポスター B2 制作:マツダヒロチカ(デザイン)/西日本新聞印刷(印刷)  
 チラシ A3 制作:マツダヒロチカ(デザイン)/西日本新聞印刷(印刷)

- 関連事業
- プレイベント  
「紙芝居セミナー」  
講師:中平順子(子ども文化研究家)  
日時:7月7日(水)14:30～17:00  
場所:アクロス福岡2F セミナー室1
  - プレイベント  
つくろう絵本ミュージアム  
「ビスケットで絵本をつくろう」  
日時:7月17日(土)、18日(日)13:00～16:30  
場所:NTT西日本福岡支店 ITプラザ福岡  
協力:NTT コミュニケーション科学基礎研究所 原田康徳
  - オープニングスペシャルイベント  
「徳永玲子のよみきかせコンサート～絵本とピアノのすてきなであい」  
出演者:徳永玲子、塚本美樹  
日時:7月30日(金)11:00～、13:00～  
場所:彫刻ラウンジ
  - ワークショップ「のぞいてみようお話の箱庭」  
講師:オーギカナエ(アーティスト)  
日時:7月31日(土)13:00～16:00  
場所:彫刻ラウンジ
  - ワークショップ「ビスケットで絵本をつくろう」  
場所:情報コーナー  
日時:7月31日(土)～8月15日(日)12:30～16:00  
協力:NTTコミュニケーション科学基礎研究所
  - ワークショップ「絵本パレード」  
日時:8月1日(日)13:00～16:00  
場所:彫刻ラウンジ～川端商店街

- 絵本ワークショップ  
日時:8月2日(月)、3日(火)、5日(木)、6日(金)、16日(月)、17日(火)、19日(木)～22日(日)13:00～16:00  
場所:彫刻ラウンジ、情報コーナー
- 中川ひろたかコンサート  
出演:中川ひろたか(絵本作家)  
日時:8月7日(土)13:00～15:00  
場所:あじびホール
- 国民読書年特別企画  
「おしいれのぼうけん」誕生のひみつ 対談  
講師:たばたせいいち(絵本作家)、酒井京子(童心社会長)  
日時:8月8日(日)14:00～16:00  
場所:あじびホール  
共催:文字・活字文化推進機構/西日本新聞社
- まついのりこ講演会  
「紙芝居を通して子どもたちに平和を！未来を！」  
講師:まついのりこ(絵本作家・紙芝居作家)  
日時:8月8日(日)10:30～12:30  
場所:あじびホール

- ワークショップ  
不思議な立方体万華鏡をつくろう！  
講師:ヤマザキミノリ(女子美術大学アート・デザイン表現学科ヒーリングアート表現領域教授)、ふくろうの会  
日時:8月8日(日)10:30～12:30  
場所:彫刻ラウンジ
- もくねんさん  
(おがくすでできた粘土で工作教室)  
日時:8月9日(月)、10日(火)、12日(木)、13日(金)10:00～18:00  
場所:彫刻ラウンジ  
提供:エフコープ生協
- ワークショップ  
「とよたかずひこさんと絵本をつくろう」  
講師:とよたかずひこ(絵本作家)  
日時:8月15日(日)14:00～16:00  
場所:彫刻ラウンジ
- とよたかずひこさんのよみきかせ会  
講師:とよたかずひこ  
日時:8月15日(日)10:30～11:30  
場所:彫刻ラウンジ
- 絵本のよみきかせ  
日時:会期中毎日  
場所:ラウンジM8
- 紙芝居上演  
日時:会期中毎日  
場所:企画ギャラリー

関連記事

- 2010. 7.20 西日本新聞(朝)「パソコンで動く絵本 NTT福岡支店で教室」
- 2010. 7.29 西日本新聞(夕)「おいでよ！絵本ミュージアム 紙芝居、絵本の世界立体的に」
- 2010. 7.31 西日本新聞(朝)「絵本ミュージアムが福岡市で開幕」
- 2010. 8. 2 西日本新聞(朝)「主人公に“変身”したよ 絵本ミュージアム企画 川端商店街を練り歩き」
- 2010. 8. 2 毎日新聞(朝)反田昌平「雑記帳」
- 2010. 8.10 西日本新聞(朝)「おはなしだいすき① 絵が誘う物語世界」
- 2010. 8.10 西日本新聞(朝)「入場者1万人突破 福岡アジア美術館 絵本ミュージアム」
- 2010. 8.11 西日本新聞(朝)「おはなしだいすき② “木杵”の中の劇場」
- 2010. 8.12 西日本新聞(朝)「絵本ミュージアム対談 ワクワク生きる力に」
- 2010. 8.12 西日本新聞(朝)「おはなしだいすき③ 畏れと憧れ「怪談」召しあがれ」
- 2010. 8.13 西日本新聞(朝)「おがくす使ったエコ粘土で工作 福岡アジア美術館」
- 2010. 8.14 西日本新聞(夕)「絵本の世界へ大冒険 妖怪話にわくわく」
- 2010. 8.17 西日本新聞(朝)「絵本ミュージアム2010 入場者2万人超える」
- 2010. 8.17 西日本新聞(朝)「おいでよ！絵本ミュージアム2010 おはなしだいすき」
- 2010. 8.20 西日本新聞(朝)「絵本ミュージアム」も3万人超え記念品贈る」

行政交流都市提携20周年・福岡釜山友情年記念  
韓国モダンアートの波—釜山市立美術館コレクション展



会 期 2010年9月18日(土)～11月3日(祝)  
 会 場 企画ギャラリー  
 主 催 福岡アジア美術館、西日本新聞社、TVQ九州放送  
 後 援 駐福岡大韓民国総領事館  
 協 賛 エアプサン株式会社、JR九州高速船株式会社、  
 カメラライン株式会社  
 協 力 釜山市立美術館  
 助 成 平成22年度文化庁美術館・歴史博物館活動基盤整備  
 支援事業  
 開 催 日 数 41日  
 観 覧 者 数 5,754人  
 出 品 点 数 76点

2008年11月、釜山市立美術館と福岡アジア美術館は、釜山広域市と福岡市の行政交流都市提携20周年を記念して、相互協力の協定を結んだ。その流れのもとに、昨年、釜山市立美術館で開催した「福岡アジア美術館所蔵品交換展—見知らぬ地図」(2009年9月26日～12月6日)に続き、釜山市立美術館のコレクション展を開催した。

本展では、主に1940年代から現在までの韓国美術を、釜山の町並みや人々をあたかな眼差しで描いた具象絵画から、静謐な空間的広がりを感じさせる70年代の抽象絵画、そして民主化を求めた80年代の社会の中で生きる人々の生きざまに迫った釜山の「形象美術」まで、時代の移り変わりとともにたどることで紹介。さらに、韓国現代美術を語るに欠かせない作家を含め、活気ある釜山の現代アートシーンも紹介した。これまで日本でほとんど紹介されることなかった韓国の近代美術を含め、さまざまな韓国の美術の波を、歴史的にたどることのできる貴重な機会となった。

このほか、展覧会期間中には、これまで釜山と福岡を行き来してきた双方の作家たちの座談会をはじめ、韓国の伝統音楽の演奏や映画上映などの関連イベントも実施した。

ポスター B2 制作:栗田卓哉[warlock](デザイン)/  
 祥文社印刷株式会社(印刷)  
 チラシ A3 制作:栗田卓哉[warlock](デザイン)/  
 祥文社印刷株式会社(印刷)  
 A4 制作:祥文社印刷株式会社(デザイン・印刷)

関連イベント □釜山市立美術館学芸員によるギャラリートーク  
 日時:9月18日(土)10:00～10:45  
 場所:企画ギャラリー  
 講師:チョ・ウンジョン(釜山市立美術館学芸員)  
 □特別講演会  
 「韓国の近現代美術史—釜山ゆかりの作家を中心に」  
 日時:9月18日(土)13:30～15:30  
 場所:彫刻ラウンジ  
 講師:イ・ジンチョル(釜山市立美術館学芸員)  
 □釜山-福岡現代アート座談会  
 「釜山の現代アートシーンと福岡-釜山の海を越えた美術交流」  
 日時:10月2日(土)16:00～18:00  
 場所:あじびホール  
 モデレーター:黒田雷児(当館学芸課長)  
 スピーカー:キム・ソンヨン(代案空間バンディ代表)、ソ・サンホ(オープンスペース・ベ代表)、ク・ホンジュ(独立文化空間アジト代表)、イ・ヨンジュン(キメ芸術スポーツセンター)

関連事業 □福岡インディペンデント映画祭2010  
 日時:9月10日(金)～12日(日)  
 場所:あじびホール(8階)  
 □釜山のサムノリとB-BOYの情熱ステージ  
 日時:9月19日(日)13:00～13:30  
 場所:彫刻ラウンジ(7階)  
 □大分アジア彫刻展「現代のかたち」vol.3  
 日時:9月20日(祝)～10月3日(日)  
 場所:彫刻ラウンジ(7階)  
 □東アジア映画フェスタ2010[中国&韓国]  
 日時:9月23日(祝)～28日(火)10:00～20:00  
 場所:あじびホール(8階)  
 □韓国ドラマ写真家ファン・ヨンチョル写真展  
 「あなたと心を共に…」  
 日時:10月7日(木)～24日(日)  
 場所:彫刻ラウンジ(7階)  
 □ファニー PD(Funny PD)韓国ドラマ・ポスター展  
 日時:10月28日(木)～11月3日(祝)  
 場所:彫刻ラウンジ(7階)

関連記事

- 2010. 9.10 東洋経済日報(朝)黒田雷児「巨大都市が生み出す美術力 解放後の韓国美術を概観」
- 2010. 9.12 西日本新聞(朝)五十嵐理奈「ミュージアムめぐり102 学芸員のいちおし 釜山市立美術館展 人と人の交流に焦点」
- 2010. 9.16 日本経済新聞(夕)「韓国現代アートに光 戦前日本の影響も」
- 2010. 9.16 西日本新聞(朝)「韓国の現代美術紹介」
- 2010. 9.21 新美術新聞 黒田雷児「通信J to Aアジアへ 釜山美術の光と影—「地方美術」は可能か」
- 2010. 9.27 西日本新聞(朝)田代謙「デスク日記」
- 2010.10. 3 西日本新聞(朝)「福岡と釜山との美術交流考える アジア美術館で座談会」
- 2010.10. 4 毎日新聞(朝)「ユーモラスで秀逸な造形 『韓国モダンアートの波』展」
- 2010.10. 9 西日本新聞(夕)「韓国アートの変遷と今」
- 2010.10.19 読売新聞(夕)白石知子「福岡で『韓国モダンアートの波』 生活に焦点[形象美術]」
- 2010.10.20 西日本新聞(朝)五十嵐理奈「韓国アートの今① 庶民へのまなざし」
- 2010.10.22 西日本新聞(朝)五十嵐理奈「韓国アートの今② 『日常』に切り込む」
- 2010.10.23 西日本新聞(朝)五十嵐理奈「韓国アートの今③ 華やかな光の下で」
- 2010.11. 1 西日本新聞(朝)藤原賢吾「展覧会 時代の荒波、色濃く映す」
- 2010.12.10 朝日新聞(夕)西正之「西先端 福岡・釜山 美術交流 導く小さな堂(バンディ) 韓国のアートのスペース「代案空間」」
- 2011. 6 デアルテ27号 五十嵐理奈「ミュージアム・ミュージアム 韓国モダンアートの波—釜山市立美術館コレクション展」

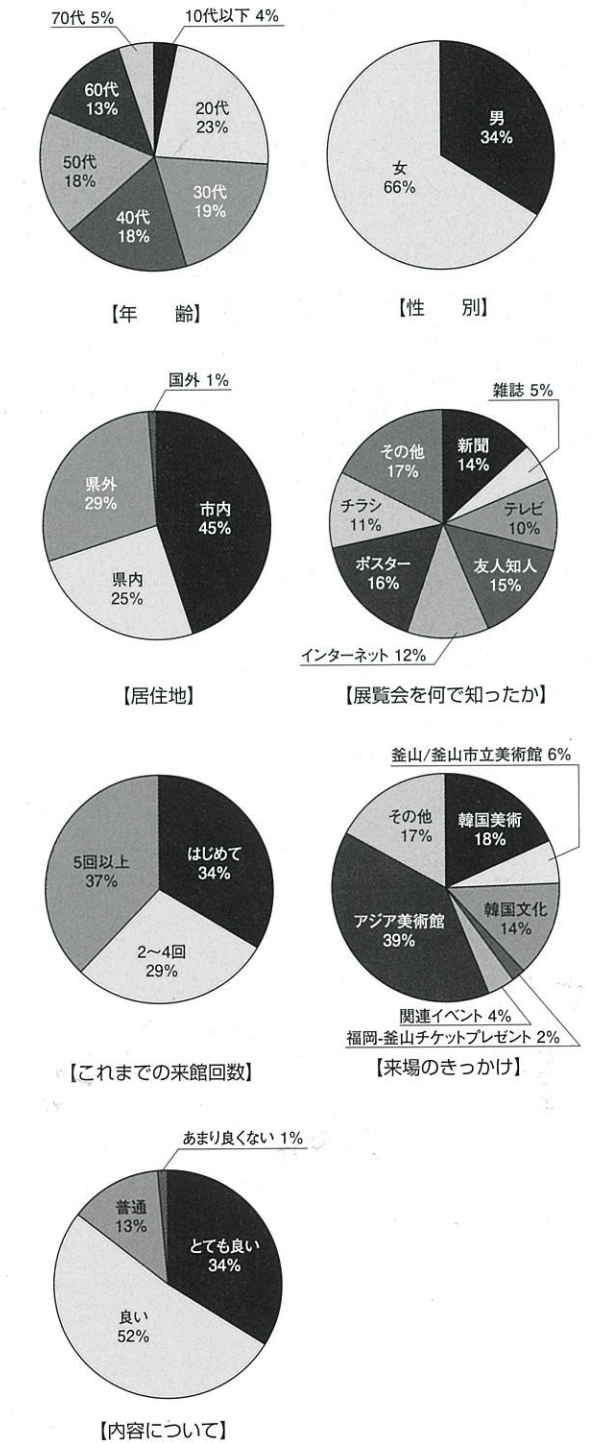
外国語記事

- “Opening: Fukuoka, Korean Waves: Modern and Contemporary Art from the Collection of the Busan Museum of Art,” *The Japan Times*, Friday, October 1, 2010 [英語]
- 2010. 9.28 国際新聞(釜山)「シム・ウヒョンの九州、文化レポート <1>海を越える芸術の波1」[韓国語]  
<http://www.kookje.co.kr/news2006/asp/center.asp?gbn=sr&code=2500&key=20100929.22019205904&sword1=%BD%C9%BF%EC%C7%F6%CO%C7&sword2=%B1%D4%BD%B4>
- 2010.10. 5 国際新聞(釜山)「シム・ウヒョンの九州、文化レポート <2>海を越える芸術の波2」[韓国語]  
<http://www.kookje.co.kr/news2006/asp/center.asp?gbn=v&code=2500&key=20101006.22019203915>

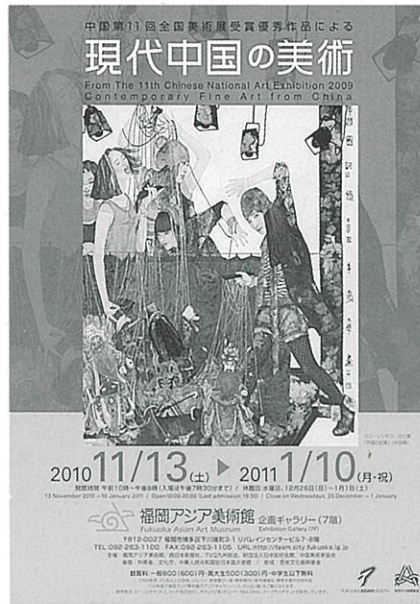
関連放送

- 2010.10.8-10.14 J:COMチャンネル福岡「Hometown福岡」

アンケート調査  
(回答者1,136名)



中国第11回全国美術展受賞優秀作品による  
現代中国の美術



会 期 2010年11月13日(土)～2011年1月10日(月)  
 会 場 企画ギャラリー  
 主 催 福岡アジア美術館、西日本新聞社、TVQ九州放送、財団法人日中友好  
 会館、中国美術家協会  
 後 援 外務省、文化庁、中華人民共和国駐日本国大使館  
 助 成 芸術文化振興基金  
 開 催 日 数 45日間  
 観 覧 者 数 8,711人  
 出 品 点 数 81点

中国では、中国政府が5年に一度主催する「全国美術展」が、中国最大規模の公募展として1949年の建国以来開催され、最も権威ある展覧会として知られている。2009年に開かれた「第11回展」では、中国全土から約5万点の応募があり、10都市で部門毎の展覧会が行われ、受賞作品が選ばれた。そして同年末には、北京の中国美術館に受賞作品500点を集めて「第11回全国美術展・受賞作品展」が開催された。本展では、その中からさらに、中国画、油彩画、水彩画、版画、漆画などの絵画作品と彫刻作品、合わせて81点を厳選し、多様な展開を見せる現代の中国美術を紹介した。

中国が歩んできた歴史の記録、国を支える人々の姿、新時代を反映した若者や都市の情景、懐かしさを感じさせる地方の暮らしや風景など、多岐にわたる主題には、北京オリンピックや上海万博を開催し、ますます発展と変化を続ける中国の「いま」の姿が、卓越した技術によって克明に表現されていた。

「全国美術展」からの選抜展は、福岡市美術館において二度(1991年及び1996年度)開催され、幅広い年齢層の市民から支持を得てきた。今回は通算で5回目、福岡アジア美術館においては3回目の展覧会となった。

ポ ス タ ー B2 制作:福原一郎(デザイン)/中央印刷紙工株式会社(印刷)  
 チ ラ シ A4 制作:福原一郎(デザイン)/中央印刷紙工株式会社(印刷)  
 図 録 A4変形 制作:福原一郎(デザイン)/財団法人日中友好会館(発行)

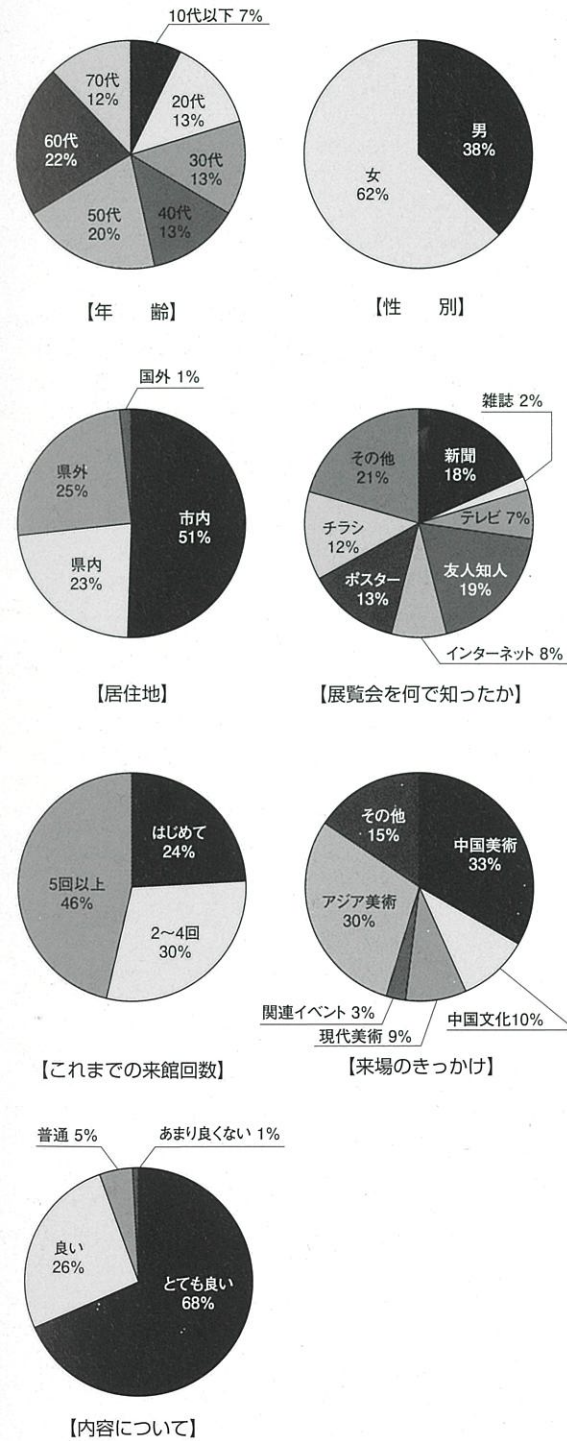
関 連 事 業  講演会「第11回全国美術展について」  
 講師:梁江(中国美術館副館長)  
 日時:11月13日(土)14:00～16:00  
 場所:あじびホール

ギャラリートーク  
 解説:山木裕子  
 日時:11月14日(日)、27日(土)、12月11日(土)、14:00～14:45  
 場所:企画ギャラリー

関連記事

- 2010.10.14 西日本新聞(朝)「本社の事業 油彩、水彩、中国画、漆絵や彫刻 多彩な力作81点厳選」
- 2010.11.13 西日本新聞(夕)「躍動感あふれる力作81点 来年1月10日まで福岡アジア美術館」
- 2010.11.14 西日本新聞(朝)「『現代中国の美術』展が開幕」
- 2010.11.30 西日本新聞(朝)山木裕子「変化の鼓動① 鎮魂 宣伝から現実直視へ」
- 2010.12.1 西日本新聞(朝)山木裕子「変化の鼓動② 家族 揺らぐ理想を立体に」
- 2010.12.2 西日本新聞(朝)山木裕子「変化の鼓動③ 光と影 『功労者』たちの素顔」
- 2011.1.7 西日本新聞(朝)藤原賢吾「展覧会 社会への疑問、多様な内実」

アンケート調査  
(回答者274名)



現代アジアの作家-V  
華麗なるネパールの神仏～ポーバ絵画の世界



会 期 2011年1月2日(日)～3月22日(火)  
会 場 アジアギャラリー B  
主 催 福岡アジア美術館  
開 催 日 数 69日  
観 覧 者 数 8,762人  
出 品 点 数 57点(参考作品6点を含む)

アジアの現代美術作家を紹介する「現代アジアの作家」シリーズの第5回目として、「華麗なるネパールの神仏～ポーバ絵画の世界」展を開催した。

ポーバ絵画とは、ネパールの先住民族であるネワール族の画家が描いた、仏教やヒンドゥーの神仏や曼荼羅などの絵画である。その起源は11世紀頃にさかのぼり、独自の様式を形成し、チベット仏教のタンカの成立にも影響を与えながら展開を続けてきた。現在もカトマンドゥ、バタン、バクタブルの三都市で盛んに制作されている。

本展では、伝統的な宗教絵画でありながら、西洋的な陰影表現や油彩技法など、新たな手法を取り入れて展開する現代のポーバ絵画の世界を、30作家57点の作品で紹介した。

図 録 A4変形 制作:田嶋デザイン事務所CYAN(デザイン)／福博総合印刷株式会社(印刷)  
ポスター B2 制作:田嶋デザイン事務所CYAN(デザイン)／福博総合印刷株式会社(印刷)  
チラシ A4変形 制作:田嶋デザイン事務所CYAN(デザイン)／福博総合印刷株式会社(印刷)

- 関連事業
- アーティストによる制作実演  
実演:ウダヤ・チャラン・スレスタ  
日時:1月20日(木)～2月1日(火)13:00～16:00  
場所:アジアギャラリー B
  - アーティストによるギャラリートーク  
講師:ウダヤ・チャラン・スレスタ  
日時:1月22日(土)14:00～15:00  
場所:アジアギャラリー B
  - アーティストによるワークショップ  
「ポーバ絵画のめりえに挑戦!」  
講師:ウダヤ・チャラン・スレスタ  
日時:1月29日(土)11:00～12:00  
場所:交流スタジオ
  - 学芸員によるギャラリートーク  
解説:山木裕子  
日時:1月15日(土)、2月12日(土)、3月13日(日)14:00～14:45  
場所:アジアギャラリー B

関連記事

- 2011. 1.17 西日本新聞(朝)「ネパールの神仏 曼荼羅など51点 福岡アジア美術館ポーバ絵画展開催」
- 2011. 1.21 新美術新聞 黒田雷児「通信アジアへ J to A[18] ネパールのポーバ絵画—今、そこにある『近代化』」
- 2011. 1.22 産経新聞(朝)「自在に変化するネパールの宗教画 来月1日まで公開制作も実施」
- 2011. 2. 1 朝日新聞(朝)田中修二「『評』美術 伝統越え自由で大胆な表現に」
- 2011. 2. 「こちらアート探偵社! ネパールのポーバ絵画」『BAILA』(3月号)p.28

関連放送

- 2011. 1. 7 NHK福岡 「ぐるっと8県 九州沖縄 ごきげんふくおかナビ!」
- 2011. 1.23 NHK 日曜美術館 アートシーン

アジアギャラリーでは、所蔵品により、アジア美術の近代から現代への流れがわかるように展示を行った。その中で、2本の特設コーナーを設置し、2～3ヶ月ごとにテーマ展示を行った。平成22年度の特設コーナーで開催した展覧会は下記のとおりである。

■アジアギャラリー A

のぞく!～ひそやかにみるアート

2010年4月1日(木)～6月29日(火)  
「のぞく!」ことは、その視線の先に何か特別なものを期待させ、「見る」行為をとて個人的な体験へと変化させる。多くの人と一緒に見るのではなく、ひとりずつ「のぞく!」ことをコンセプトにしたインスタレーションや立体作品、またのぞき見る人を描いた絵画作品などを紹介し、見るものと見られるものの関係を探った。

関連放送

- 2010. 4.16 NHK福岡「ぐるっと8県 九州沖縄 ごきげんふくおかナビ!」

あじび のりもの大図鑑

2010年7月1日(木)～9月28日(火)  
ひとは、古くから、移動のために「のりもの」を考えだしてきた。馬や牛、それらがひく馬車や牛車。砂漠を行きかうラクダ。当展では、主に、この20年間に作られたアジアのいろいろな乗り物を描いた作品を通して、「のりもの」に対するひとびとの期待や夢を見つけ、社会が抱え込んだ問題についても考えた。

福岡のコト・ヒト～滞在制作の軌跡

2010年9月30日(木)～12月25日(土)

福岡アジア美術館では、アジアからアーティストを一定期間招へいし、滞在制作や様々な交流プログラムを行っている。本展では、アーティストたちが滞在中に制作した、福岡のコトやヒトに関わる作品を一堂に集めて展示することで、過去10年間の交流プログラムをふり返るとともに、アーティストたちが出会った「福岡」を探った。

関連記事

- 2010.12.24 西日本新聞(朝)「福岡滞在中のアーティスト紹介 空襲被害作品、市民の肖像画も」

関連放送

- 2010.11.13～11.28 J:COM福岡「ごちテレ! ～アートにふれる秋」

神と自然のコスモロジー～ネパールの美術～

2011年1月2日(日)～3月29日(火)  
ヒマラヤ山脈にいだかれたネパールの美術には、雄大な自然とそこに宿る力(神々)を象徴的に表した作品が多く見られる。本展では、これらの作品を通して、ネパール美術の歩みをたどるとともに、作家たちの精神的宇宙を探った。また、企画展「ネパールのポーバ絵画」とあわせて開催することで、ネパールの近現代美術の展開を概観できるように意図した。

## ■アジアギャラリーB

### ミスター・アジア～探せ!あなたのヒーロー

2010年4月8日(木)～7月6日(火)

アジアの大衆的な美術には、それぞれの時代に民衆が憧れた政治家、歴史上の人物などが、理想的な人物として登場する。一方、現代美術の作家たちは、そうした人物たちに批判的なまなざしを投げかけ、その社会や歴史を問い直そうとしている。本展では、映画などの人気スターを含め、アジアのさまざまな男性像に「ミスター・アジア」を探った。

### わっしょい!～アジアの祭りめぐり

2010年7月8日(木)～10月5日(火)

アジアには人々が楽しみにしているお祭りがたくさんある。豊作をもたらす雨を願うラオスのロケット祭り、笛に合わせてダンスを踊るワルリー人(インド)のディワリ祭りなど、賑やかで楽しげなお祭りの様子を描いた作品で、アジアの祭りをめぐり歩くという夏休みの企画として開催した。

#### 関連記事

2010. 7.17 産経新聞(朝)「アラカルト 楽しい祭りの様子を絵で鑑賞」

### 上海コネクション

2010年10月7日(木)～12月25日(土)

上海は、かつて「魔都」と呼ばれた時代から今日まで、世界中の人々を惹きつけてきた。その魅力を反映してか、当館のコレクションには上海ゆかりの作品が多数ある。上海万博開催の2010年、上海ゆかりの作家による作品や、上海を舞台にした作品の中に、福岡から最も近い中国の都市のひとつである上海の魅力に迫った。

交流事業



本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を福岡に招聘し、様々な美術交流事業をおこなうことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。

美術作家招聘事業



アナンディタ・ダッタ  
(インド)

1973年生まれ  
ブルニア(インド)在住

滞在期間  
2010年6月10日～8月18日

□主な活動

①作品制作

九州産業大学の屋外ステージに約1トンの粘土を使って2つのパフォーマンス「安らかな奪取」「当惑/迷路」を実施し、その様子をビデオと写真作品にした。またこの作品制作には同大学芸術学部の塚本洋守准教授をはじめ、学生らが多数協力した。

②ワークショップ

「インドの凧を作ろう」

●7月14日

参加者: 田隈小学校5年生51人

場 所: 彫刻ラウンジ

●7月24日

参加者: 夏休み子どもアートバスツアー参加者26人

場 所: 彫刻ラウンジ

●7月26日

参加者: 南福岡特別支援学校中等部生徒17人

場 所: 南福岡特別支援学校



③アーティスト・トーク

●6月12日

参加者: 一般51人 場 所: あじびホール

●7月8日

参加者: 原北中学校1年生249人 場 所: 交流スタジオ

●8月10日

参加者: 一般56人 場 所: 8階ロビー

④展覧会

●8月10日～24日

「第10回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」

展示場所: あじびホール、8階ロビー

⑤公開制作

●7月25日

場 所: 九州産業大学屋外ステージ



アウン・ミャット・テー  
(ミャンマー)

1973年生まれ  
ヤンゴン(ミャンマー)在住

滞在期間  
2010年9月7日～11月16日

□主な活動

①作品制作

ブッタの生涯や人間の内面世界を投影したインスタレーション「物語」を制作したほか、地域イベントの「博多リバレイン灯明」において、数千個の灯明を使って大きな地上絵を描いた。

②ワークショップ

「ミャンマーの話を聞いて作品を作ろう」

●9月17日

参加者: 大名小学校3・4年生28人

場 所: 交流ギャラリー

●10月8日

参加者: 柏原小学校5年生95人

場 所: 交流スタジオ

●10月14日

参加者: 北崎中学校1・2年生42人

場 所: 交流ギャラリー

●11月3日

参加者: 古賀中学校美術部16人

場 所: あじびホール



●11月4日

参加者: 御陵中学校2年生103人

場 所: 御陵中学校

③アーティスト・トーク

●11月2日

参加者: 三苫小学校6年生60人

場 所: 交流スタジオ

●11月13日

参加者: 一般64人

場 所: 交流ギャラリー

④展覧会

●11月13日～28日

「第10回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」

展示場所: 交流ギャラリー

⑤パフォーマンス

●11月3日

「ホームシックと病の家」

参加者: 一般72人

場 所: 冷泉公園

●11月13日

参加者: 一般64人

場 所: あじびホール

⑥地域イベント

●10月28日

「博多リバレイン灯明」

場 所: 博多リバレイン フェスタスクエア



キム・ジミン  
(韓国)

1975年生まれ  
ソウル(韓国)在住

滞在期間  
2010年9月7日～11月15日

□主な活動

①作品制作

ファッションブランドの洋服のタグをつなげて、2点の平面作品「ファン3.6」「オキシモロン」を制作。直径3.6mの巨大な作品「ファン3.6」は、川端中央商店街の入口上部から吊り下げて展示された。また、福岡県福津市にある宮地嶽神社では、境内の楼門と納屋に洋服のタグを貼って、数百枚のデジタル画像を撮影し、それをもとにストップモーション・アニメーションの映像作品「ファン」を制作した。

②ワークショップ

「シールで作る海の中の世界」

●9月24日  
参加者:賀茂小学校3年生96人  
場 所:交流スタジオ

●9月28日  
参加者:有田小学校3年生97人  
場 所:交流スタジオ

●10月19日  
参加者:小中学生10人  
場 所:福岡市立こども病院

●10月28日  
参加者:金山小学校6年生57人  
場 所:交流スタジオ

③アーティスト・トーク

●9月10日  
参加者:東住吉中学校3年生56人  
場 所:あじびホール

●11月2日  
参加者:三苫小学校6年生60人  
場 所:交流スタジオ

●11月13日  
参加者:一般58人  
場 所:8階ロビー

④展覧会

●11月13日～28日  
「第10回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」  
展示場所:交流ギャラリー、8階ロビー、川端中央商店街

⑤その他

●11月3日  
作品見学ツアー  
参加者:一般60人  
場 所:交流ギャラリー～川端中央商店街



研究者・学芸員等招聘事業



クラリッサ・チキアムコ  
(フィリピン)

1983年生まれ  
マニラ(フィリピン)在住

滞在期間  
2010年2月7日～3月20日

□主な活動

①調査・研究

当館が所蔵する映像資料等に基づき、日本を含めたアジアの映像作家たちの作品やその歴史を研究した。

調査旅行

●3月7、8日  
国立民族学博物館、国立国際美術館(大阪)

②教育プログラム

・トーク

●3月1日  
参加者:福岡教育大学附属幼稚園33人

場 所:彫刻ラウンジ

・講演会

●3月12日  
「あじび美術講座 フィリピンのビデオ・アート[Part 2]」

参加者:一般28人

場 所:あじびホール



他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査・研究を行うことを希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員に対して、制作や調査・研究活動を支援した。



ホセリナ・クルス  
(フィリピン)

1970年生まれ  
マニラ(フィリピン)在住

**滞在期間**  
2010年8月28日～11月10日  
日本財団APIフェローシップからの助成を受けて来日。当館所蔵品およびアジアのビデオ・アートについて調査・研究した。

□主な活動

- 11月7日  
講演会「あじび美術講座 フィリピンのビデオ・アート」  
参加者：一般32人  
場 所：あじびホール
- 11月7日  
上映会「悪夢の香り」  
(1977、95分、16ミリフィルム、監督：キドラット・タヒミック)  
参加者：一般36人  
場 所：あじびホール



リン・ホイシェン  
(台湾)

1979年生まれ  
台東(台湾)在住

**滞在期間**  
2010年9月9日～12月7日  
台湾現代芸術基金会からの助成を受けて来日。当館の招聘事業、展覧会事業等について研修した。

□主な活動

- 11月3日  
トーク  
「台東鉄道芸術村について」  
参加者：一般48人  
場 所：交流スタジオ



バイ・ティアン・ユエン  
(シンガポール)

1985年生まれ  
シンガポール在住

**滞在期間**  
2010年11月29日～12月22日  
2010年に開催された「第29回大華銀行全国絵画展」の大賞受賞者で、同展の助成を受けて来日。「推移」をテーマに、当館で働くスタッフをモデルにした肖像画10点を制作した。

□主な活動

- 2011年4月14日～6月21日  
「バイ・ティアン・ユエン滞在制作展—推移—」  
展示場所：7階ロビー

シンガポールとの美術教育交流事業

「ワークショップ：展覧会の作り方」

日 時：11月15日

場 所：会議室

参加校：シンガポール[滞在期間：2010年11月11日～18日]

華僑中学校(生徒12人、教師2人)

内 容：12名の生徒を4グループに分け、まずアジアギャラリーを見学した。その後、各グループでテーマを考え、作品を選び、彫刻ラウンジを会場とした展示プランを考え、最後に、グループごとにプランの発表を行った。

教育普及事業 1 受け入れ支援事業

施設等を活用した体験学習 4校  
総合的な学習の時間 19校

福岡女子高等学校 5人  
沖学園高等学校 1人  
博多高等学校 1人  
九州産業大学付属九州高等学校 3人

実習生受け入れ

中学校  
職場体験学習  
早良中学校 4人(6月29日～7月1日)  
博多中学校 4人(8月24日、25日)  
雙葉中学校 3人(8月26日、27日)  
東住吉中学校 3人(9月7日、8日)  
高宮中学校 3人(9月14日、15日)  
平尾中学校 6人(9月14日、15日)  
吉塚中学校 3人(9月14日～16日)  
筑紫丘中学校 5人(9月14日～16日)  
東光中学校 1人(9月14日～16日)  
宮竹中学校 4人(9月21日、22日、24日)  
当仁中学校 2人(9月28日、29日)  
住吉中学校 4人(10月13日～15日)  
警固中学校 5人(10月13日～15日)

現場実習

福岡中央特別支援学校高等部 1人(2月14日～25日)

大学

博物館実習(6月から10月までの中で10日間程度)  
佐賀大学 1人  
西南学院大学 1人  
九州産業大学 1人  
福岡大学 1人

インターンシップ

マルティン・ルター大学 1人(8月2日～31日)

社会人(教諭)

平成22年度県立高等学校等普通教科担当教員長期社会体験派遣研修  
福岡県立稲築志耕館高等学校 1人(9月1日～11月30日)  
10年経験者研修  
友泉中学校 1人(12月28日、29日)

高等学校

夏期インターンシップ研修(8月2日～6日)  
博多工業高等学校 1人

教育普及事業 2 とびだせ！アジア美術館事業

心身の疾病や障がい、保護の必要性などの理由から来館自体が非常に困難な子どもたちを対象に、入院・入所する施設内で、所蔵品展示やワークショップを行い、アジアの美術・文化にふれる機会を提供した。平成19年度より継続実施。

□南福岡特別支援学校

9月1日(水)～14日(火)  
作 品 展 示：リキシャ1点、絵画11点、映像2点の展示  
ワークショップ：7月26日 アナンディタ・ダッタ(インド)「インドの冠を作ろう！」

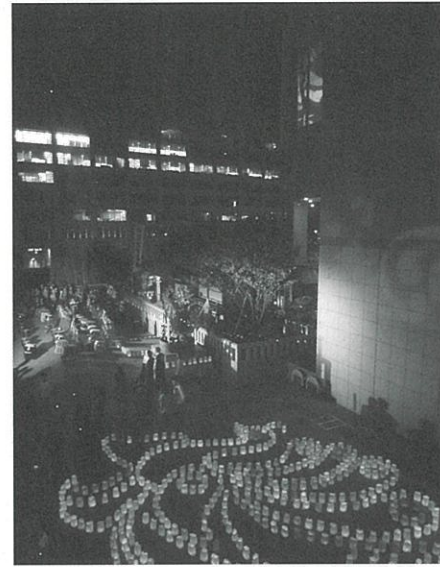
□こども病院・感染症センター

9月1日(水)～14日(火)  
作 品 展 示：絵画11点、映像4点の展示  
ワークショップ：9月19日 キム・ジミン氏(韓国)「シールで作る海の中の世界」

ミュージアム施策事業 1 地域交流事業

「博多リバレイン灯明」  
 (「第16回博多灯明ウォッチング2010」同時開催)  
 10月23日(土)18:00～21:00  
 場所:博多リバレイン

博多リバレインが毎秋開催している地域イベント「博多リバレイン灯明」に美術作家招聘事業で滞在していたアウン・ミャット・テー(ミャンマー)が参加し、ミャンマーの灯明祭りを彷彿とさせる下絵を描き、数千個の灯明を設置した。また、市内の小中学生がアウンとのワークショップで制作した廻り灯籠もあわせて展示した。



博多リバレイン灯明

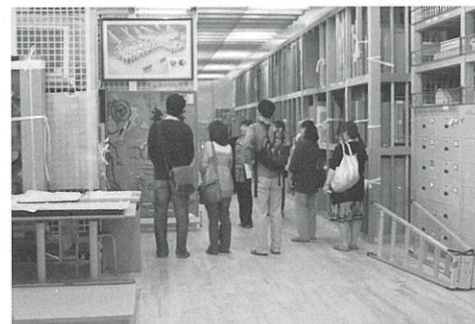
ミュージアム施策事業 2 福岡ミュージアムウィーク事業

「福岡ミュージアムウィーク2010」  
 美術館・博物館の役割である「出会いの場」「知識の場」「発見の場」をより多くの人々に知ってもらうため、5月18日の「国際博物館の日」を記念して福岡市の3館(福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館)が連携し、様々な催しを開催した。

- 講演会  
 「関口知宏が語る旅・ふれあい～アジアとアート」  
 講師:関口知宏(旅人、俳優)  
 5月21日(金)18:00～19:30  
 参加者:応募者230人  
 場所:彫刻ラウンジ
- ギャラリートーク  
 5月15日(土)～18日(火)、20日(木)～22日(土)14:00～14:40  
 参加者:一般60人  
 場所:アジアギャラリー
- ギャラリートーク&バックヤードツアー  
 5月23日(日)11:00～12:00、14:00～15:00  
 参加者:一般10人  
 場所:アジアギャラリーほか
- アジアの絵本の読みきかせ  
 5月15日(土)、16日(日)、22日(土)11:30～12:00、13:30～14:00  
 参加者:応募者77人(31組)  
 場所:キッズコーナー
- その他  
 ●アジアギャラリー観覧無料  
 ●3館を巡るスタンプラリー  
 ●カフェ、ショップでの割引サービス  
 ●「ぐりーん」で巡る3館ガイドツアー  
 5月21日(金)9:40～15:10  
 参加者:48人  
 場所:アジアギャラリー



関口知宏講演会



学芸員によるギャラリートーク&バックヤードツアー

ボランティア活動

前年度末にボランティア登録の更新をおこない、203人で活動をおこなった(前年度より6人減)。  
 新たな活動として、催事ボランティアの企画による「ボランティア研修会」の実施や、ボランティア有志による絵本の読みかせなどをおこなった。さらに、福岡市美術館のボランティアと交流し、活動についての意見交換をおこない、作品解説および資料整理等についても具体的に学んだ。

活動内容およびグループ別のべ人数 (一人が複数のグループで活動できるため) (H23年3月現在)

活動区分	活動内容	計
図書資料	図書資料の整理・修理、配架など	52
学芸資料	新聞記事のスクラップ、学芸関連資料の整理補助など	25
情報・ネット	他館の展覧会情報(郵送印刷物)の整理、雑誌掲載記事のスクラップ、ボランティアあての電子メールの管理など	25
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内など	54
ボランティア通信編集	ボランティア向け印刷物(ボランティア通信)の編集・発行	9
ボランティア催事	ボランティア交流会、ボランティア研修会等の企画・実施	10
交流	滞在作家・研究者の支援(制作補助、研究補助、語学補助)、イベントの支援	58
広報	美術館広報誌および展覧会ポスター・チラシ等の発送と配布	23
計		256
ボランティア登録者数		203

## 活動

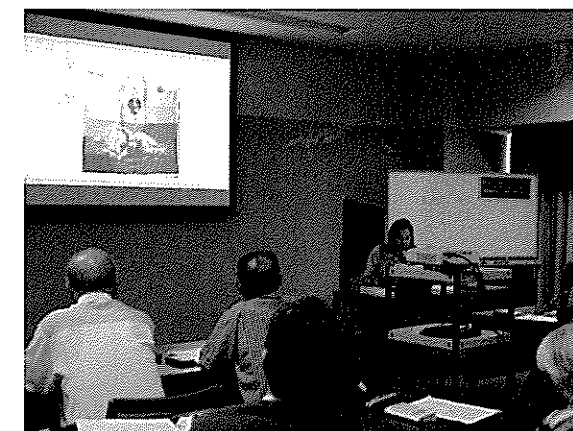
### 平成22年

- 4月 1日 図書ボランティア、活動開始。(今年度から、作業効率を高めるため毎月10日と20日に活動日を設定するとともに、それ以外の日程にも随時活動。月2日以上、1日につき2時間以上)。  
学芸資料ボランティア、活動開始(以後、随時活動。月2日以上、1日につき2時間以上)。  
情報・ネットボランティア活動開始(以後、第1・3木曜日および第2・4土曜日を中心に活動)。活動後に毎回ミーティングを開催。今年度より情報・ネットのメンバー向けブログを開設。  
案内・解説ボランティア、活動開始。(以後、全開館日の13:00～16:00に、アジアギャラリーの観覧者を対象に活動)
- 4月6日・7日 広報ボランティア、活動開始。「あじびニュースvol.40」「平成23年度展覧会リーフレット」の発送作業をおこなう。
- 4月 15日 ボランティア催事ボランティア活動開始。第1回ミーティングを開催し、今年度の催事について討議。
- 4月 16日 学芸資料ボランティア、月例ミーティング開催(以後、毎月16日または17日に開催)。
- 4月 19日 図書ボランティア、第1回ミーティング開催(年2回)。
- 4月 22日 案内・解説ボランティア、団体来館者向けに作品解説・施設案内をおこなう(以後、学校および団体見学の申し込みに応じて随時活動)。
- 4月 24日 案内・解説ボランティア、月例ミーティングを開催(以後、毎月最終土曜日に開催)。
- 4月 25日 ボランティア通信編集ボランティア、活動開始。ミーティングおよび「ボランティア通信vol.15」の第1回編集会議をおこなう。
- 5月15日～22日 案内・解説ボランティア、「福岡ミュージアムウィーク」でギャラリートークを実施。
- 5月15日・16日・22日 ボランティア有志で「福岡ミュージアムウィーク アジアの絵本の読みきかせ」を実施。
- 5月20日・21日 案内・解説ボランティア、「福岡ミュージアムウィーク グリーンで巡る3館ガイドツアー」でギャラリートークを実施。
- 5月 22日 ボランティア催事ボランティア、第2回ミーティング。「第1期レジデンス歓迎会」の準備、およびボランティア研修旅行、ボランティア研修会について討議。



ボランティア有志による「アジアの絵本の読みきかせ」

- 5月 29日 交流ボランティア、活動開始。第1回ミーティングを開催。「第4回福岡トリエンナーレ」の報告および今後の活動について討議。
- 6月7日・11日 広報ボランティア「おいでよ! 絵本ミュージアム2010」の発送作業を行う。(以後、特別企画展、小企画展のポスター、チラシを市内および近郊の各所に配布し、設置を随時依頼。)
- 6月 12日 ボランティア催事ボランティア、「第1期レジデンス歓迎会」を開催。  
交流ボランティア、第2回ミーティングを開催。
- 6月 19日 ボランティア催事ボランティア、第3回ミーティング。  
ボランティア総会で実施する研修についてのアンケートを作成。
- 6月 24日 ボランティア総会を開催。登録更新についての報告、グループごとの活動報告、および今後の活動についての意見交換等をおこなう。
- 7月 1日 交流ボランティア、第1期レジデンス滞在アーティストが小学生向けにおこなうワークショップの予行演習を実施。
- 7月 3日 ボランティア催事ボランティア、第4回ミーティング。  
総会で実施したアンケートの回収と整理をおこなう。
- 7月 5日 広報ボランティア、「あじびニュースvol.41」の発送作業をおこなう。
- 7月 13日 交流ボランティア、ワークショップのサポートをおこなう。
- 7月15日・16日 広報ボランティア、「韓国モダンアートの波」のポスター、チラシ発送作業を行う。
- 7月24日～27日 有志でベトナム(ハノイ)に研修旅行を実施。
- 8月 1日 ボランティア通信編集ボランティア、「ボランティア通信vol.15」の第2回編集会議をおこなう。
- 8月 7日 ボランティア催事ボランティア、第5回ミーティング。  
ボランティア研修会の原案作りをおこなう。
- 9月 11日 催事ボランティア、「第Ⅱ期レジデンス歓迎会」を開催。  
交流ボランティア、ミーティング開催。



第1回ボランティア研修会

9月 16日 ボランティア催事ボランティア、「第1回ボランティア研修会」(展覧会のプレ・トーク「社会、歴史、そして美術」パート1 「韓国美術のなかの釜山—中央VS地方?」講師:黒田雷児学芸課長)を開催。

9月21日~11月4日  
交流ボランティア、韓国のアーティストの作品制作の支援として洋服のタグの縫製作業、ワークショップの支援としてシール制作をおこなう。

9月27日~29日  
有志で韓国・光州に研修旅行、釜山ビエンナーレを観覧する。

9月29日・30日  
広報ボランティア、「あじびニュースvol.42」の発送作業をおこなう。

10月4日~21日  
交流ボランティア、ミャンマーのアーティストのワークショップの支援としてランタンの制作をおこなう。

10月6日・7日  
広報ボランティア、「現代中国の美術」のポスター、チラシの発送作業をおこなう。

10月 9日 催事ボランティア、第6回ミーティング。「第2回ボランティア研修会」の準備をおこなう。

10月 11日 ボランティア通信編集ボランティア、「ボランティア通信vol.15」の第3回編集会議をおこなう。

10月22日~23日  
23日開催の「博多リバレイン灯明」で使用するランタン制作と当日の設置作業をおこなう。

11月 6日 ボランティア催事ボランティア、「第2回ボランティア研修会」(展覧会のプレ・トーク「社会、歴史、そして美術」パート2 「中国の「全国美術展」と中国現代美術のはざま」講師:安永幸一顧問)を開催。終了後、第7回ミーティングを開催。

11月 17日 情報・ネットボランティア、活動終了後に木下晴夫館長との懇談会を実施。

11月 27日 ボランティア通信編集ボランティア、「ボランティア通信vol.15」の第4回編集会議をおこなう。

12月 4日 ボランティア催事ボランティア、「第3回ボランティア研修会」として福岡市美術館ボランティアとの交流会を実施。



交流ボランティアによる韓国のアーティストの制作補助



情報・ネットボランティアと館長との懇談会



福岡市美術館ボランティアとの交流会

12月9日・10日・13日  
広報ボランティア、「華麗なるネパールの神仏~ポーバ 絵画の世界」のポスター、チラシの発送作業をおこなう。

12月 18日 ボランティア通信編集ボランティア、「ボランティア通信vol.15」の第5回編集会議をおこなう。ボランティア催事ボランティア、ボランティア忘年会を開催。

#### 平成23年

1月 6日 広報ボランティア、「あじびニュースvol.43」の発送作業をおこなう。

2月 5日 ボランティア催事ボランティア、「第4回ボランティア研修会」(展覧会トーク「現代アジアの作家-V 華麗なるネパールの神仏~ポーバ絵画の世界」講師:山木裕子学芸員)を開催。

2月 12日 図書ボランティア、ミーティングを開催。

2月 26日 ボランティア催事ボランティア、ミーティングを開催。

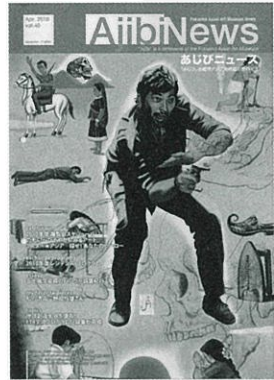
3月 10日 図書ボランティア、有志で絵本の読み聞かせの第1回練習会を実施。

3月 19日 ボランティア催事ボランティア、ミーティングを開催。「第4回ボランティア研修会」について準備する。

3月 26日 広報ボランティア、「あじびニュースvol.44」の発送作業をおこなう。

3月 31日 図書ボランティア、有志で絵本の読み聞かせの第2回練習会を実施。

あじびニュース



vol.40 2010.4.1発行

- 2010年度展覧会スケジュール
- のぞく！～ひそやかにみるアート
- ミスター★アジアー探せ！あなたのヒーロー
- 2010年度レジデンス・プログラム
- 五十嵐学芸員のバンクラ調査紀行
- 私の逸品—野田恒雄さん
- 地域創造大賞を受賞！
- FT4交流プログラム記録集が完成



vol.42 2010.10.1発行

- 現代中国の美術
- 上海コネクション
- 福岡のコト・ヒト—滞在制作の軌跡
- アナンディタ・ダッタの“どろどろ”パフォーマンス
- ただいま2人のアーティストが滞在制作中！
- アーティスト・研究者・学芸員のレジデンス、随時受け入れています！
- 博多リバレイン灯明にあじびのアーティストが参加
- 私の逸品—トコさん
- 釜山のアートスペースからアンニョンハセヨ！



vol.41 2010.7.1発行

- おいでよ！絵本ミュージアム2010
- あじびのりもの大図鑑
- わっしょい！—アジアの祭りめぐり
- 韓国モダンアートの波—釜山市立美術館コレクション展
- レジデンス事業の10年
- アート+αの楽しみ方
- 私の逸品—関口知宏さん
- 福岡ミュージアムウィーク



vol.43 2011.1.1発行

- 華麗なるネパールの神仏：ポバ絵画の世界
- 神と自然のコスモロジー～ネパールの美術～
- 完了！滞在制作 第2期
- 七俵先生の「あじび部」な日々
- あじび研究所：アジア各地の新年は？
- 私の逸品—高橋徹郎さん
- 「光州&釜山ビエンナーレ」鑑賞ツアー

規格 A4 8ページ 企画・発行 福岡アジア美術館 編集 木下貴子(CXB)  
デザイン 萩原晋一(n4g.jp) 和文英訳 ステファニー・オリ

リーフレット

平成23年度展覧会リーフレット

2010.3.31発行

- 展覧会のご案内2011年4月—2012年3月
- レジデンス事業のご案内
- 交流ギャラリー

規格

横594×縦210mm(両面カラー・6つ折り)

企画・発行 福岡アジア美術館

編集 木下貴子(CXB)

デザイン 作本知枝美

ホームページ

<http://faam.city.fukuoka.lg.jp/>

コンテンツ

美術館について／基本理念、活動案内、施設概要、美術館ができるまで、アジア美術展の歩み

コレクション／収集方針、主な作品、所蔵品検索

美術館だより／最新トピックス、バックナンバー

利用案内／利用案内、交通案内、館内マップ、FAAM CAFE

出版物・グッズ／出版物・グッズ、展覧会図録ほか、広報誌、オリジナルグッズ、PDFデータ(事業報告書ほか)

展覧会案内／展覧会最新情報、スケジュール

イベント案内／最新のイベント、過去のイベント

レジデンス事業／今年度の滞在者、過去の滞在者、事業報告書、募集要項

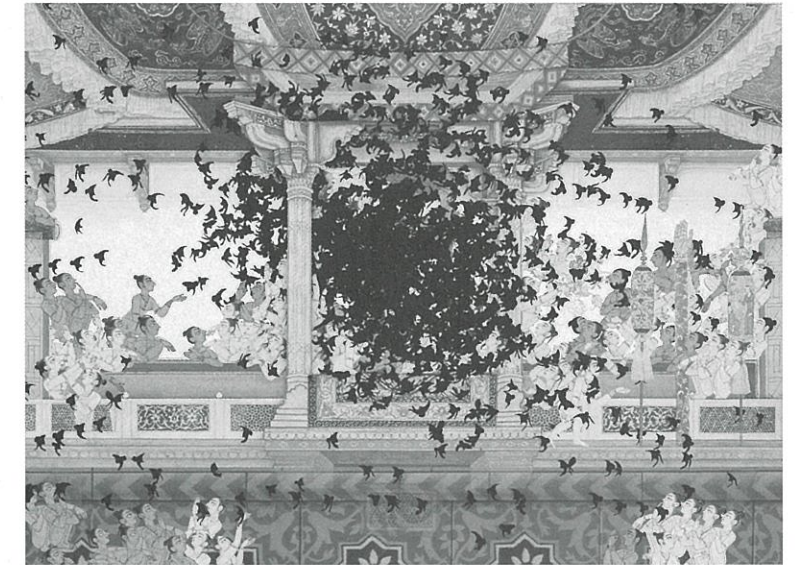
所蔵作品

新所蔵作品数 H22年度

	購入	寄贈	移管	合計
絵画	5	47	5	57
彫刻*	1	1	0	2
版画	0	41	0	41
写真	8	2	0	10
映像	2	4	0	6
合計	16	95	5	116

\*インсталレーションを含む

番号 制作者  
タイトル  
制作年  
ジャンル 素材  
サイズ(cm) 制作地



シャジャ・シカンダー  
SpiNN  
2003  
映像 ビデオ・アニメーション(6分30秒)  
パキスタン

新所蔵作品一覧

- |   |   |   |   |   |  |  |  |
|---|---|---|---|---|--|--|--|
| 1 シャジャ・シカンダー<br>SpiNN<br>2003<br>映像 ビデオ・アニメーション(6分30秒)<br>パキスタン     | 10 ラジェンドラ・マハルジャン<br>チャクラサンヴァラ(最勝楽)<br>2009<br>絵画 鉱物顔料・画布<br>45 x 33.2 ネパール        | 19 アナンディタ・ダッタ<br>当惑/迷路<br>2010<br>映像 DVD(3分30秒)<br>インド(寄贈)                  | 62 シヤンタヌ・ウキル<br>ヴァラナシでシヴァ神を礼拝する<br>婦人たち<br>1974<br>絵画 インク、コンテ、水彩・紙<br>18.2 x 27.6 インド(寄贈) | 71 ロカ・ニティ・バッグ<br>題名不詳(インドのリトグラフ集9)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>54.3 x 37.4 インド(寄贈)     | 80 作家不詳<br>題名不詳(インドのリトグラフ集18)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>37.4 x 54.3 インド(寄贈)                 | 88 S.H.サラット<br>嫉妬する木々<br>1984<br>版画 オフセット・紙<br>45.4 x 58.4 スリランカ(寄贈)                                 | 96 作家不詳<br>祖霊祭壇図<br>不詳<br>版画 木版、彩色・紙<br>113.7 x 73.8 ベトナム(寄贈)  |
| 2 マリサ・ダラサワツ<br>母の魂—授乳<br>2008<br>絵画 油彩・画布<br>140 x 125 ラオス          | 11 ウェイ・レン・テイ<br>ここからどこへ—無題1<br>2009<br>写真 アーカイバル顔料プリント<br>40.7 x 50.6 シンガポール      | 20-54 ドン・サルバイバ<br>バクを飼いならず #1-35<br>2008<br>写真 ボールペン・紙<br>27 x 38 フィリピン(寄贈) | 63 作家不詳<br>題名不詳(インドのリトグラフ集1)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>54.3 x 37.4 インド(寄贈)                 | 72 ハーレークリシュナ・バッグ<br>題名不詳(インドのリトグラフ集10)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>54.3 x 37.4 インド(寄贈) | 81 作家不詳<br>題名不詳(インドのリトグラフ集19)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>54.3 x 37.4 インド(寄贈)                 | 89 S.H.サラット<br>民族の友好<br>1984<br>版画 オフセット・紙<br>45.8 x 58.4 スリランカ(寄贈)                                  | 97 作家不詳<br>五虎図<br>不詳<br>版画 木版、彩色・紙<br>43.8 x 31.1 ベトナム(寄贈)     |
| 3 マリサ・ダラサワツ<br>母の魂—モン族<br>2008<br>絵画 油彩・画布<br>185.3 x 144.7 ラオス     | 12 ウェイ・レン・テイ<br>ここからどこへ—無題3<br>2009<br>写真 アーカイバル顔料プリント<br>40.7 x 50.4 シンガポール      | 55 アン・ジョンジュ<br>リップシンク・プロジェクト(福岡)<br>2009<br>映像 DVD(3分58秒)<br>韓国(寄贈)         | 64 作家不詳<br>題名不詳(インドのリトグラフ集2)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>37.4 x 54.3 インド(寄贈)                 | 73 ソマネス・ホア<br>傷(インドのリトグラフ集11)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>37.4 x 54.3 インド(寄贈)          | 82 アジット・チャクラヴァルティ<br>題名不詳(インドのリトグラフ集20)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>54.3 x 37.4 インド(寄贈)       | 90 S.H.サラット<br>題名不詳(象)<br>1984<br>版画 印刷物<br>45.5 x 58.4 スリランカ(寄贈)                                    | 98 ニ・ハ(カ)<br>進士と象<br>1971<br>絵画 彩色・絹<br>27 x 33.4 ベトナム(寄贈)     |
| 4 ディン・キュー・レ<br>南シナ海ピシュクン<br>2009<br>映像 3Dアニメーション・ビデオ(6分30秒)<br>ベトナム | 13 ウェイ・レン・テイ<br>ここからどこへ—無題10<br>2009<br>写真 アーカイバル顔料プリント<br>40.7 x 50.6 シンガポール     | 56 キム・ジミン<br>ファン2010—神社の記憶<br>2010<br>映像 HD / DVD(11分33秒)<br>韓国(寄贈)         | 65 作家不詳<br>夏の嵐(インドのリトグラフ集3)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>37.4 x 54.3 インド(寄贈)                  | 74 作家不詳<br>題名不詳(インドのリトグラフ集12)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>37.4 x 54.3 インド(寄贈)          | 83 ザリナ・ハシミ<br>多くの部屋のある家1 部屋が<br>いっぱいある家に住んでいた<br>1993<br>版画 エッチング・紙<br>42.3 x 74.9 インド(寄贈) | 91 スタンリー・キリンデ<br>ジャーカカ物語(捨身飼虎)<br>1975<br>絵画 水彩・紙<br>29.6 x 19.6 スリランカ(寄贈)                           | 99 作家不詳<br>如来図<br>不詳<br>版画 木版、彩色・紙<br>110.2 x 48.2 ベトナム(寄贈)    |
| 5 ダヴァー・ドルジェレム<br>空間から聞こえる声 2<br>2009<br>彫刻 自動車用パテ、ヤギの皮、紙、木<br>モンゴル  | 14 ウェイ・レン・テイ<br>ここからどこへ—無題11<br>2009<br>写真 アーカイバル顔料プリント<br>40.7 x 50.6 シンガポール     | 57 須田悦弘<br>雑草<br>2002<br>彫刻 顔料、木<br>4 x 5 日本(寄贈)                            | 66 シヤンタヌ・バッタチャリヤ<br>題名不詳(インドのリトグラフ集4)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>37.4 x 54.3 インド(寄贈)        | 75 作家不詳<br>題名不詳(インドのリトグラフ集13)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>37.4 x 54.3 インド(寄贈)          | 84 ザリナ・ハシミ<br>多くの部屋のある家2<br>部屋から部屋へと歩く<br>1993<br>版画 エッチング・紙<br>42.3 x 74.8 インド(寄贈)        | 92 ニルーフアル・チャマン<br>《風が吹き、風が去る》のための<br>下絵<br>2007<br>絵画 ペン・紙<br>23.5 x 79.5 バングラデシュ(寄贈)                | 100 作家不詳<br>韋駄天図<br>不詳<br>版画 木版、彩色・紙<br>134.7 x 52.8 ベトナム(寄贈)  |
| 6 比嘉豊光<br>赤いゴーヤ<br>1970-72 / 2004<br>写真 白黒写真(15枚)<br>25 x 30        | 15 ウェイ・レン・テイ<br>ここからどこへ—無題28<br>2009<br>写真 アーカイバル顔料プリント<br>40.7 x 50.1 シンガポール     | 58 グラム・ラスール<br>イスラマバード1<br>1986<br>版画 エッチング・紙<br>29.3 x 39.7 パキスタン(寄贈)      | 67 作家不詳<br>題名不詳(インドのリトグラフ集5)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>37.4 x 54.3 インド(寄贈)                 | 76 作家不詳<br>題名不詳(インドのリトグラフ集14)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>37.4 x 54.3 インド(寄贈)          | 85 ザリナ・ハシミ<br>多くの部屋のある家3<br>壁にさわりながら<br>1993<br>版画 エッチング・紙<br>42 x 74.9 インド(寄贈)            | 93 プロシャンタ・<br>カルマカール・ブッダ<br>歴史<br>1991<br>版画 彩色エッチング・紙<br>50.7 x 51 バングラデシュ(寄贈)                      | 101 作家不詳<br>持国天図カ<br>不詳<br>版画 木版、彩色・紙<br>110.1 x 50.4 ベトナム(寄贈) |
| 7 比嘉豊光<br>ナナムイ<br>1997-2001<br>写真 白黒写真(10枚)<br>25 x 30              | 16 ウェイ・レン・テイ<br>ここからどこへ—無題29<br>2009<br>写真 アーカイバル顔料プリント<br>40.7 x 50.6 シンガポール     | 59 グラム・ラスール<br>イスラマバード2<br>1986<br>版画 エッチング・紙<br>29.5 x 39.7 パキスタン(寄贈)      | 68 スシェン・ゴージュ<br>題名不詳(インドのリトグラフ集6)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>37.4 x 54.3 インド(寄贈)            | 77 作家不詳<br>題名不詳(インドのリトグラフ集15)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>37.4 x 54.3 インド(寄贈)          | 86 ザリナ・ハシミ<br>多くの部屋のある家4<br>絶望の境界<br>1993<br>版画 エッチング・紙<br>42.5 x 75 インド(寄贈)               | 94 リー・キャンセン(李健省)<br>スルタン・アブドゥル・サマドビル<br>(旧・新政府庁舎)<br>1978<br>版画 エッチング・リトグラフ・紙<br>37 x 46.3 マレーシア(寄贈) | 102 作家不詳<br>文官宋鼎図<br>不詳<br>版画 木版、彩色・紙<br>126.2 x 52.2 ベトナム(寄贈) |
| 8 ムクティ・シン・タバ<br>ガネーシヤ<br>2000<br>絵画 鉱物顔料・画布<br>110 x 85 ネパール        | 17 ウェイ・レン・テイ<br>ここからどこへ—無題22<br>2009<br>写真 アーカイバル顔料プリント<br>40.7 x 50.6 シンガポール(寄贈) | 60 モンスール・ラヒ<br>山猫<br>1986<br>絵画 木炭・紙<br>42.3 x 28 パキスタン(寄贈)                 | 69 ラムキンカール・ヴァイジ<br>題名不詳(インドのリトグラフ集7)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>37.4 x 54.3 インド(寄贈)         | 78 作家不詳<br>題名不詳(インドのリトグラフ集16)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>54.3 x 37.4 インド(寄贈)          | 87 S.H.サラット<br>文字絵・寿<br>不詳<br>版画 木版、彩色・紙<br>111.1 x 36.8 ベトナム(寄贈)                          | 103 カルティカ・アフアンディ<br>初代館長安永幸一氏の肖像<br>1999<br>絵画 アクリル・画布<br>53.2 x 41.2 インドネシア(寄贈)                     |  |
| 9 プルナ・ブラサド・ヨジュ<br>蓮華手観音菩薩<br>2001<br>絵画 鉱物顔料・画布<br>35 x 25 ネパール     | 18 アナンディタ・ダッタ<br>安らかな奪取<br>2010<br>映像 DVD(2分30秒)<br>インド(寄贈)                       | 61 モンスール・ラヒ<br>音楽家<br>1987<br>絵画 水彩・紙<br>43 x 28 パキスタン(寄贈)                  | 70 サナ・カー<br>題名不詳(インドのリトグラフ集8)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>37.4 x 54.3 インド(寄贈)                | 79 作家不詳<br>題名不詳(インドのリトグラフ集17)<br>1975<br>版画 リトグラフ・紙<br>54.3 x 37.4 インド(寄贈)          | 95 作家不詳<br>文字絵・寿<br>不詳<br>版画 木版、彩色・紙<br>111.1 x 36.8 ベトナム(寄贈)                              | 104 ハリアディ・スアディ<br>ブトロ・コロ(悪魔払い)<br>1996<br>絵画 アクリル・ガラス<br>55.5 x 45.7 インドネシア(移管)                      |  |





デイン・キュー・レ  
南シナ海ピシュクン  
2009  
映像 3Dアニメーション・ビデオ(6分30秒)  
ベトナム

105 ハリアディ・スアディ  
聖獣ブランク  
1986  
絵画 アクリル・ガラス  
53.9 x 46 インドネシア(移管)

106 バヤニ・パウティスタ  
題名不詳(ヌード1)  
1979  
絵画 パステル・紙  
38.7 x 50.2 フィリピン(寄贈)

107 バヤニ・パウティスタ  
題名不詳(ヌード2)  
1979年頃  
絵画 パステル・紙  
50.7 x 39.2 フィリピン(寄贈)

108 ツァイ・グオチアン(蔡國強)  
(天地悠々)のための下絵  
1991  
絵画 火薬、墨、和紙(2枚)  
44.4 x 70.6 中国(寄贈)

109 ファン・リジュン(方力鈞)  
No.121996  
版画 木版・紙  
121.5 x 80 中国(寄贈)

110 ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)  
瑶族の一家  
1997  
版画 木版・紙  
58.2 x 67.1 中国(寄贈)

111 ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)  
我、北京天安門を愛す  
1996-97  
絵画 写真、コンピュータグラフィック、水彩、漆・板  
65 x 55.2 中国(移管)

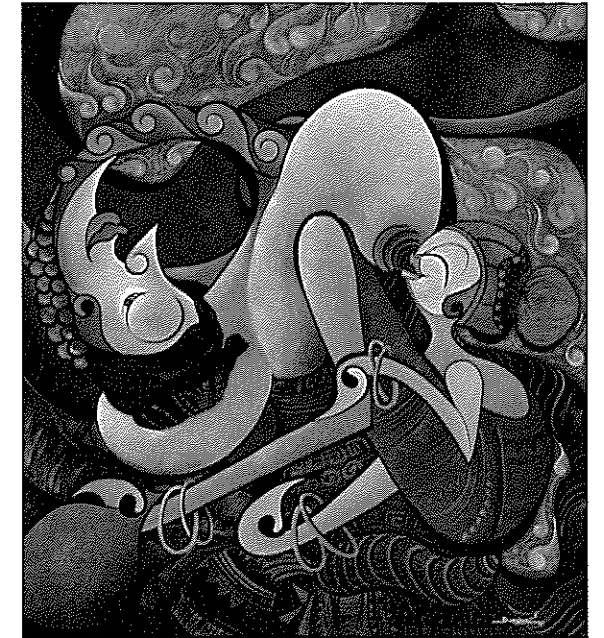
112 ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)  
我、北京天安門を愛す  
1996-97  
絵画 写真、コンピュータグラフィック、水彩、漆・板  
64.8 x 54.8 中国(移管)

113 ルオ三兄弟(羅氏三兄弟)  
我、北京天安門を愛す  
1996-97  
絵画 写真、コンピュータグラフィック、水彩、漆・板  
65.1 x 55 中国(移管)

114 ワン・ルーイエン(王魯炎) /  
新刻度グループ  
解析 I  
1990-91  
版画 コンピュータ・グラフィック  
(レーザープリンタ出力)  
29.5 x 21 中国(寄贈)

115 キム・サンホ  
金剛山オンチョンリの春  
1996  
絵画 紙本着色  
92.4 x 163 北朝鮮(寄贈)

116 郭徳俊(クァク・ドッチュン)  
位置・確認  
1972年頃  
写真 白黒写真、印刷物(木パネル張り)  
(5点組)  
23 x 28.1 韓国・日本(寄贈)



マリサ・ダラサワツ  
母の魂一授乳  
2008  
絵画 油彩・画布  
140x125 ラオス



ムクティ・シン・タバ  
ガネーシャ  
2000  
絵画 鉱物顔料・画布  
110x85 ネパール

所蔵作品 2 貸出一覧

①  
 貸出先:ルイジ・ペッジ現代美術館 / Centro per l'Arte Contemporanea Luigi Pecci  
 展覧会名:光は明るく、色は豊か / The Light is Bright and the Color is Generous  
 展覧会会期:2010年10月16日(土)~2011年2月13日(日)  
 貸出期間:2010年10月2日(土)~2011年3月27日(日)  
 貸出点数:1点

作者	作品名
1. マイケル・リン(林明弘)	おもてなし

②  
 貸出先:韓国国立現代美術館 / National Museum of Contemporary Art, Korea  
 展覧会名:メイド・イン・ポップランド / Made in Popland  
 展覧会会期:2010年11月11日(木)~2011年2月20日(日)  
 貸出期間:2010年10月10日(日)~2011年3月20日(日)  
 貸出点数:4点

作者	作品名
1. ファン・リジュン(方力鈞)	九三、八号
2. ファン・リジュン(方力鈞)	シリーズ2 No.3
3. ゼン・ファンジ(曾梵志)	肉:臥
4. ツァオ・フェイ(曹斐)	コスプレイヤー

所蔵作品 3 修復一覧

作者	作品名
1. グエン・クアン	西湖(タイ湖)
2. ジョージ・キート	レモンのある静物
3. カルトノ・ユドクスモ	風景(まばゆい沼)
4. タ・ティ	女

所蔵作品 4 画像掲載一覧

①  
 『美術フォーラム21』第21号、2010年、醍醐書房

作者	作品名
1. ラジャ・ラヴィ・ヴァルマ(原画)	サラスヴァティー
2. アブドゥル・レーマン・チュクタイ	消えた炎
3. ライオネル・ウエント	題不詳[男のヌードと本]
4. F. N. スーザ	勇ましい新世界
5. 作家不詳	マカオ風景
6. 陳進	サンティモン社の女
7. ヘンドラ・グナワン	しらみ獲りと垢すり
8. グエン・カン(阮康)	ホーおじさん、村へ行く
10. ジョージ・キート	《レモンのある静物》
11. ラムクワー工房か	《夏の宮殿の皇后》
12. ゴービンドラム・チャテラ	《アサフ・ウッダウラの肖像》
13. サヤー・タウン	《王室の肖像》
14. BRAC(バングラデシュ農村向上委員会) / アーロン デザイン・制作	《農村女性の仕事 / 壁掛け》
15. カルロス・フランシスコ	《教育による進歩》
16. 作者不詳	《ハヌマーン》
17. ワヤン・ベンディ	《バリの祭式》
18. グエン・ファン・チャン	《オーアングァン遊び》
19. キエン・イムスイリ	《音楽のリズム》
20. ワン・クーピン(王克平)	《万々歳》
21. チン・フォン	《ハノイの少女 アメリカ軍戦闘機を撃墜》
22. リュウ・カン(劉抗)	《古い通り》
23. ハン・ジイン / ジイン画室(杭裨英 / 裨英画室)	《たばこ(哈徳門)のポスター》

② 松岡正剛編『平城遷都1300年記念出版 NARASIA 第2弾 いまなら本 東アジア共同体?』丸善、2010年

作者	作品名
1. ナヴジョート、シャンティバイ、クマール、カピラム、ガスラムほかの共同制作	もうひとつの実践方法—世界をいかに作るか
2. スレンドラン・ナーヤル	体系的な神話—傷
3. ロベルト・フェレオ	スペインの暗い側面の祭壇屏
4. ディン・ティ・タン・ブーン	ひとりになるとき
5. スティー・クナウィチャヤノン	永遠なる不毛3
6. ミン・ウェー・アウン	傘を差す僧
7. チェン・シュンチュ(陳順榮)	集会・家族バレー—家 II
8. ロン・ソフィア	瞑想

③ Zilia Papp, "Traditional Monster Imagery in Manga, Anime and Japanese Cinema," Leiden: Brill, 2010

作者	作品名
1. ツァオ・フェイ(曹斐)	コスプレイヤー
2. 角孝政	装甲可変生命体 カラッパ
3. 角孝政	装甲可変生命体 マンティス、ハナカマキリ
4. 角孝政	装甲可変生命体 フィッシュ、硬魚

④ 下原美保『中学校の鑑賞 アジアの美術 アジア美術の鑑賞の題材と学習のポイントは何ですか』改訂 美術科教育の基礎知識 福田隆真、福本謹一、茂木一司編、建帛社、2010年

作者	作品名
1. ファン・リジュン(方力鈞)	シリーズ2 No.3

⑤ 一橋大学経済研究所プロジェクトPRIMCED (途上国における貧困削減と制度・市場・政策:比較経済発展論の試み) ホームページ(<http://www.ier.hit-u.ac.jp/primced/>)、2010年11月

作者	作品名
1. BRAC(バングラデシュ農村向上委員会)/アロン デザイン・制作	黄金のベンガル/壁掛け

⑥ 岩切みお『福岡アジア美術三年展—其真摯挑戦の十年』『現代美術』152期、台北市美術館、2010年10月

作者	作品名
1. ツァオ・フェイ(曹斐)	コスプレイヤー
2. 角孝政	装甲可変生命体 カラッパ

⑦ 藤川哲『発言権/力の獲得—福岡アジア美術三年展の十年軌跡』152期、台北市美術館、2010年10月

作者	作品名
1. シュ・ビン(徐冰)	お名前は?
2. イン・シウジェン(尹秀珍)	スーツケース2001
3. リン・ティエンミャオ(林天苗)	卵3 #

⑧ 古沢ゆりあ『フィリピン近代絵画におけるキュビズムと歴史画—マナンサラ作『最初の十字架がたてられる』をめぐって—』(九州大学大学院芸術学研究室修士論文)、2011年1月

作者	作品名
1. ヴィセンテ・マナンサラ	ファン・ルナの「血の同盟」
2. ヴィセンテ・マナンサラ	「母子像」

⑨ アンドリュー・マークル『ウォン・ホイチョン インタビュー 取り残された歴史をすくいあげて』『ART iT』([http://www.art-it.asia/u/admin\\_ed\\_feature/Xels5MpBZvVbHQadKrPI/](http://www.art-it.asia/u/admin_ed_feature/Xels5MpBZvVbHQadKrPI/))、2011年3月

作者	作品名
1. ウォン・ホイチョン	肅清(絵画)
2. ウォン・ホイチョン	肅清(映像)

\*発行が確認されたもののみ掲載

# 入館者数

## 年度別入館者数

年度別	開館日数	常設展	特別企画展	貸館展覧会等	合計	1日平均
10年度	22		22,250		22,250	1,011
11年度	242	38,530	149,395	70,336	258,261	1,067
12年度	309	66,421	118,677	106,529	291,627	944
13年度	302	29,632	15,330	186,987	231,949	768
14年度	301	45,472	71,375	40,452	157,299	523
15年度	307	56,623	167,353	64,827	288,803	941
16年度	305	39,828	37,815	81,015	158,658	520
17年度	294	42,679	107,203	90,714	240,596	818
18年度	307	53,872	69,007	96,847	219,726	716
19年度	309	45,501	81,972	88,543	216,016	699
20年度	307	50,719	67,797	142,131	260,647	849
21年度	286	35,740	111,635	77,814	225,189	787
22年度	307	40,820	57,272	83,921	182,013	593
累計	3,598	545,837	1,077,081	1,130,116	2,753,034	765

## 月別入館者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	9,040	12,153	9,341	16,382	54,741	9,064	9,386	10,849	10,199	15,715	14,077	11,066	182,013

## あじびホール月別使用状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	3	3	13	11	5	20	10	11	11	12	11	9	119
人数	209	252	726	809	484	3,260	639	799	813	802	868	537	10,198

## あじびホール年度別使用状況

年度別	件数	人数
10年度	21	1,730
11年度	110	8,480
12年度	106	9,682
13年度	58	8,834
14年度	50	5,849
15年度	70	7,353
16年度	87	8,681
17年度	89	7,336
18年度	109	11,609
19年度	113	11,487
20年度	145	13,360
21年度	102	8,227
22年度	119	10,198
累計	1,179	112,826

## あじびホール使用状況内訳

催物別	件数	人数
催物別		
講演会	14	1,021
セミナー	11	778
アーティストトーク	4	303
ワークショップ	1	15
映画	31	4,008
演劇	7	560
音楽	3	250
落語	2	102
漫才	4	415
展示	24	1,407
ボランティア	0	0
その他	18	1,339
合計	119	10,198

## 常設展・特別企画展

展覧会名	開催期間	日数	計	有料観覧者数				無料観覧者数	1日平均
				小計	一般	高・大	小・中		
常設展		307	40,820	12,237	10,704	1,533	0	28,583	133
特別企画展	おいでよ! 絵本ミュージアム 2010 7月30日 - 8月22日	21	42,807	18,233	12,871	429	4,933	24,574	2,038
	韓国モダンアートの波 - 釜山市立美術館コレクション展 9月18日 - 11月3日	41	5,754	2,477	2,202	275	0	3,277	140
	現代中国の美術 11月13日 - 1月10日	45	8,711	3,129	2,706	423	0	5,582	194
合計		107	57,272	23,839	17,779	1,127	4,933	33,433	

## 貸館展覧会等 7階企画ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
第11回イメージラボ写真教室作品展	4月8日 - 4月13日	6	948	写真教室の受講生による100点を超える作品と約30冊の写真集を展示
田尻砂津子フックド・ラグ展	4月15日 - 4月20日	6	400	古くなったウールの洋服などを利用して、玄関マットやチェアマットなどの敷物を作るアメリカではキルトと並んで人気と歴史のある手芸作品の展示
花と光のフェスティバル	4月15日 - 4月20日	6	1,739	自然の色を活かした押し花額絵を約130点展示。ガラスアート、ネイチャープリント、レカンフラワー、ファッション転写の作品も併せて展示
曹亜銅水墨芸術学院日中芸術交流20周年記念展	4月22日 - 4月27日	6	1,297	20周年にあたり、熊本、東京教室の生徒の作品も含めて、水墨、墨彩画約220点を展示
妖怪展「妖の園(あやかしのその)」	4月29日 - 5月5日	7	1,761	「妖怪は究極のアートである」をテーマに、内外のアーティストの参加を促し、世界共通のテーマとして「妖怪」を集結し、水墨画、水彩画、イラスト、オブジェ、写真、詩など合計約40点を展示
九州産業大学開学50周年記念展	5月7日 - 5月11日	5	1,020	九州産業大学芸術学部在学生・卒業生と教員の合同展。絵画、彫刻、工芸、デザイン、写真など約300点を展示
加藤梅子その愛と魂	5月13日 - 5月18日	6	577	絵のテーマを「心」とした母子像を、油絵、コンテ、墨、彫刻等で表現した作品を展示
辺境の風景—ヒマラヤチベット・南極・砂漠—	5月13日 - 5月18日	6	512	木崎甲子郎油彩展。「ヒマラヤ」「南極」「砂漠」の3部構成で、約60点を展示
川浪舎人色鉛筆植物画展	5月20日 - 5月25日	6	428	色鉛筆4コマ植物画。「そっと語りたく、そっと触れたく」をテーマに4枚1組を50品種(200枚)と特別展示ヒマワリを24枚展示
カルトナーージュ作品展	5月20日 - 5月25日	6	814	アトリエ・モアレと岩田屋コミュニティカレッジ、カルトナーージュ講座受講生の作品展。日々の暮らしの中で役立つ、実用的でおしゃれなインテリア小物(布箱、鏡、ダストボックスなど)を展示
永嶋実依子キルトサークル パッチワーク・キルト展	5月27日 - 6月1日	6	1,127	宗像市、福岡市、那珂川町のサークルの生徒と一緒に制作したタペストリーや小物などを展示
第19回アジア美術家連盟日本委員会展	6月3日 - 6月8日	6	1,039	現在会員数51名、交流会員8名で構成。福岡市を中心に東京、仙台、京都、山口の会員も参加し、油彩、日本画、ミックストメディア、版画、彫刻、造形作品等を展示
船坂芳助・村上勝展(闊〜啓発の空間〜)	6月10日 - 6月15日	6	514	船坂芳助のドローイングと村上勝のインスタレーションによる両作家のコラボレーション作品展
21世紀書画作家国際交流展 in 福岡	6月17日 - 6月22日	6	1,053	現代書・現代水墨画のアジアの代表的作家約20名の作品を展示
山弘孝写真展「神宿る山と溪」	6月17日 - 6月22日	6	1,057	神宿る山と溪と題し、世界の山、日本の山、九州の山、溪谷など時季折々の風景60点を展示
ARTWAVE 2010in福岡	6月24日 - 6月29日	6	1,166	絵画、陶芸等78名の作家による、78点の作品を展示
テキスタイル&ファイバーアートグループ grasp 第10回記念展	7月1日 - 7月6日	6	827	福岡を拠点に九州からテキスタイルの新しい文化を発信してきたテキスタイルアートクラブの記念すべき10回展
博多織と裕人傑作〜月を織る〜	7月1日 - 7月6日	6	701	博多織 千年工房による「月」をテーマにした作品と箔芸作家裕人傑作とのコラボレーション作品の展示
3 Artists' 3 Exhibitions in Japan	7月1日 - 7月6日	6	695	日本、韓国、タイの三作家による、写真、版画、絵画の作品展
博多発Asian Art 映画看板の神様城戸久馬之進の描く「博多の祭り」展	7月8日 - 7月13日	6	2,034	博多住吉の画家城戸久馬之進の秘蔵絵画大小約100点を展示
(社)二科会写真部福岡支部写真公募展	7月15日 - 7月20日	6	834	福岡県民を対象とした写真公募展で写真文化の発展と向上に寄与することを目的とした作品展
大牟田高校美術部のふしぎ展	7月15日 - 7月20日	6	801	「美術部とは何か」をコンセプトにした大牟田高校美術部18名と、美術部から派生した作家による作品展
勝山健史「貴き蘭に込めた思い」展	8月26日 - 8月31日	6	430	勝山健史の感性によって本当に美しいと納得できる日本の絹織物を約40点展示
第2回それぞれの写真展(吉本統治・松本昭和二人展)	9月2日 - 9月7日	6	998	写真と書画のコラボレーション並びにチベットの写真約50点を展示
第6回九産大芸術学部写真学科 柴田ゼミナール写真展「十八番」	9月2日 - 9月7日	6	425	九州産業大学芸術学部写真学科柴田ゼミナールによる「18番」をテーマにした作品を約120点展示
「Made in Japan」from Kyusyu 九州支部会員展	1月14日 - 1月21日	7	675	(社)日本広告写真協会九州支部会員35名による写真展で、約40点を展示
佐伯和子展	1月14日 - 1月18日	5	539	風景、花などの油絵20点、オリジナルジュエリー 150点以上を展示
ヒンドゥー聖地〜VARANASI〜	1月15日 - 1月21日	6	482	インドのヒンドゥー教最高の聖地ヴァラナシの伝統・文化をテーマにした写真63点を展示
デビュー 40周年記念 萩尾望都原画展	1月24日 - 3月13日	42	17,457	大牟田で生まれた女流漫画家、萩尾望都のデビュー 40周年を記念して350点にわたるアートワークを紹介する展覧会
2010アジアデジタルアート大賞展	3月17日 - 3月29日	12	1,464	映像作品、インタラクティブ作品、グラフィックデザイン、情報デザイン等の平面作品、約120点を展示
合計			222	43,814

貸館展覧会等 8階交流ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
第3回「夢織」パッチワーク作品展	4月 1日 - 4月 6日	6	535	ベッドカバー 16点、タペストリー 50点、バック小物10点とミニドレスを展示
てん・てん・の展	4月 8日 - 4月 13日	6	569	写真・ステンドグラス・陶器・金属造形・トンボ玉の各分野における5人の作家による初めてのコラボレーション展
佐久間かつえ写真展(夢の途中-日本で学んだアジアの留学生を追って-)	4月 15日 - 4月 20日	6	729	日本で学んだアジアの留学生を追って、彼らのその後の母国での姿を紹介。モノクロとカラー写真70点をキャプションと共に展示
チベット幸福のルーツ	4月 22日 - 4月 27日	6	576	3度にわたるチベット訪問で撮影した写真展の第2弾
氣功書道~周玉森の世界	4月 29日 - 5月 5日	7	680	中国で古くから伝わる秘術である氣功書道による水墨画、篆刻等の作品を展示
九州産業大学開学50周年記念展	5月 7日 - 5月 11日	5	723	九州産業大学芸術学部在学・卒業生と教員の合同展。絵画、彫刻、工芸、デザイン、写真など約300点を展示
NHK福岡文化センター福岡教室楽しい「はがき絵」(水彩)教室合同展	5月 13日 - 5月 18日	6	813	藤崎和子による水彩はがき絵教室合同展
第10回福岡江古田会アート展	5月 20日 - 5月 25日	6	661	福岡県内在住の日本大学芸術学部卒業生の団体で、写真、絵画、書、工芸、デザイン、版画など150点を展示
佐伯和子展	5月 27日 - 6月 1日	6	509	自然をテーマにした油絵と、オリジナルジュエリー 100点以上を展示
中村洋一筆ペン画展	6月 3日 - 6月 8日	6	1,104	筆で作った手製のペンとインクでスケッチし、淡彩で仕上げた風景水彩画の作品展。福岡県内の市町村の風景をスケッチしたもの約70点を展示
鄭泰官水墨画真彩画展	6月 10日 - 6月 15日	6	325	水墨画真彩画展。叙情性に富む土俗味と現代的実験意識を共存させ、韓国南道地方特有の情緒が加味されたイメージを土台とする作品を展示
十色「写真展TOIRO Vol. 2」	6月 17日 - 6月 22日	6	578	十人十色というように、各自のテーマに沿った写真作品の展示。また、9人がそれぞれの6色を求めて撮った巨大集合作品も展示
三つの様相展	6月 24日 - 6月 29日	6	428	彫刻・オブジェ・ドローイングの三人展
第9回現美墨象展	7月 1日 - 7月 6日	6	825	形、線質、リズム、墨色、余白などを取り出し、それぞれのイメージに合わせて再構築する「墨象作品」(墨の抽象作品)を約100点展示
韓国誠信女子大学陶芸展	7月 8日 - 7月 13日	6	348	韓国誠信女子大学の卒業生と大学院生を中心とした韓国の現代陶芸作品展。陶器30点、陶磁器40点を展示
第18回日中友好児童絵画展	7月 15日 - 7月 20日	6	2,006	中国上海市及び福岡県内の児童生徒による入選作品168点と友情展覧会など合計400点を展示
漢雪 墨の世界展	7月 22日 - 7月 27日	6	408	黒の濃淡や重ね書きの絵画的要素を表現した作品約30点を展示
第25回水墨祥泉会記念展	7月 29日 - 8月 3日	6	2,294	25周年記念展として、水墨画、墨彩画、掛け軸等90点を展示
菅原三絵本原画展	8月 5日 - 8月 10日	6	965	原画、油絵、水彩、立体人形、イラストレーションなど絵本とその周辺の仕事、約100点を展示
児童絵画展「わたしと先生」	8月 12日 - 8月 17日	6	1,257	小学校2年生を対象に「わたしと先生」という題材で福岡地区の入賞、入選作品約180点の優秀作品を展示
「四季の色」第4回日本風景写真協会選抜展	8月 19日 - 8月 24日	6	769	会員413名の1682点に紙上コンテストの入選作品80点を加えて選抜された90点を展示
藍と絞り シボリコミュニティ福岡第10回作品展	8月 26日 - 8月 31日	6	603	「シボリ」という伝統の技を「今にどう生かすか」という視点を持って作られた藍染め作品展
山岳写真展「山々燦々」	9月 2日 - 9月 7日	6	1,191	第1部「花遊園」、第2部「日本の山」、第3部「世界の山」の3部構成で山岳写真約80点を展示
写楽会水彩画展	9月 9日 - 9月 14日	6	1,317	水墨画風の絵手紙や色鉛筆や水彩で描いた風景画、静物画など約100点展示
上賀茂流 真多呂人形築紫支部第8回作品展	9月 23日 - 9月 28日	6	571	由緒ある人形の技法で、平安王朝の優美さを現代に合うよう新しい感覚で作り上げられた上賀茂流真多呂人形作品展
日本風景写真協会福岡第一支部第8回写真展	9月 30日 - 10月 5日	6	835	所展会員23名による「四季風景」46作品を展示
第33回西日本版画協会展	10月 7日 - 10月 12日	6	680	西日本版画協会(40人)による、板目木版、木口木版、ペーパースクリーン、シルクスクリン、銅版画等の技法による版画作品約70点の展示
日・米・韓国際交流三人展	10月 14日 - 10月 19日	6	593	墨象(松田朴伝・日本)、彫刻(ジム・フォスター・米国)、絵画(黄元基・韓国)の作品を展示
福岡建築パース展2010	10月 21日 - 10月 26日	6	673	建物の完成予想図(パース)を九州各地を中心に東京、大阪、名古屋からの出展を含めて約100点を展示
第10回NHK福岡文化センター平川幸児写真教室写真展「時への眼差し」	10月 28日 - 11月 3日	7	832	21名による個展形態による組写真で、モノクロ及びカラー写真105点を展示
甞るこ・ぎ・れの世界	11月 5日 - 11月 9日	5	1,197	ベッドカバーやタペストリーを中心に、和の小もの、額物などパッチワークキルトの作品250点以上を展示
第10回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2	11月 13日 - 11月 28日	14	2,835	福岡アジア美術館の招聘した美術作家、アウン・ミャット・テー(ミャンマー)とキム・ジミン(韓国)が、福岡の人たちと交流しながら制作した作品やワークショップなどを展示する成果展
博多織と木	12月 2日 - 12月 7日	6	662	博多織元 千年工房による「木」をテーマにした作品展
第22回MOA美術館福岡児童作品展	12月 9日 - 12月 14日	6	2,137	福岡市とその近郊14市町の児童絵画展。入賞作品約400点の作品を展示
第48回オール福岡大学写真展	12月 16日 - 12月 21日	6	393	福岡大学写真部OB、OG、職員による写真展。モノクロ、カラー写真100点以上展示
ろうそくのべいじ	12月 23日 - 12月 25日	3	231	ろうそくをテーマに、美術、工芸、産業の3つの視点から、見て触れて参加できる作品展
江海 個展-龍	1月 2日 - 1月 6日	4	327	「龍」をテーマにした作品展。700年の歴史を持つ中国永楽宮の壁面技法を用いた作品約30点を展示
第16回福岡県幼児画展	1月 8日 - 1月 10日	3	2,365	福岡県内の幼稚園・保育園から寄せられた6260点の作品から選ばれた入賞作品450点を展示
福岡市人権尊重作品展	1月 13日 - 1月 18日	6	226	福岡市人権尊重推進委員会が公募した人権啓発ポスター、絵画、標語、絵手紙の入選作品(小学校、中学校、高校、一般、計349作品)を展示
第12回博多区絵画・写真展	1月 20日 - 1月 25日	6	1,351	市民交流と文化、芸術への理解と関心を図ることを目的として開催する絵画・写真展

ICCデジタルカメラ	1月 27日 - 2月 1日	6	552	岩田屋コミュニティカレッジのデジタルカメラ講座で学ぶ人達の初の写真作品展。40名で約70点を展示
Ken De Works 2010卒業。近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科平成22年度卒業研究展示会	2月 3日 - 2月 8日	6	315	近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科の卒業研究展示会。様々な分野のポスターや作品を展示
第51回福岡大学美術部展	2月 10日 - 2月 15日	6	640	福岡大学美術部による、今年で51年目になる美術展。油彩、水彩、CG、陶器、オブジェなど、多彩なジャンルの100点以上の作品を展示
九州大学芸術工科大学片山研究室作品展	2月 17日 - 2月 22日	6	433	九州大学芸術工科大学片山研究室の学生8名による卒業制作発表会も兼ねた作品展。平面作品、立体作品、人形、映像、版画と幅広いジャンルの作品を展示
福岡教育大学大学院美術教育コース修了制作展	2月 24日 - 3月 1日	6	401	福岡教育大学大学院修士課程美術教育コース修了生による絵画、構成デザイン、工芸、美術教育、書道教育領域の制作展
五感「草創期の呼吸」	3月 3日 - 3月 8日	6	340	九州造形短期大学松村研究室の卒業生と研究生10名による写真展。人物、生物、光をテーマにしたものや、精神的な自己表現の作品など約100点を展示
爆発する!「(生)の芸術」 アール・ブリュット in FUKUOKA	3月 11日 - 4月 10日	18	1,305	パリで開催中の「アール・ブリュット・ジャポネ展」の日本人作家64名の作品928点の中から絵画、オブジェ等約100点を展示
合計			294	40,107

2010年

- 4月 6日 日本アセアン事務総長来館
- 4月 9日 北九州市立美術館長来館
- 4月 20日 NHK福岡放送局長来館
- 4月 22日 「日中文化芸術交流20周年記念展」開会式
- 5月 15日 福岡ミュージアムウィーク開催(5月23日まで)
- 6月 10日 招聘美術作家アナンディタ・ダッタ氏来館  
(8月18日まで滞在)
- 7月 30日 「おいでよ！絵本ミュージアム2010」開会式
- 8月 19日 シンガポール国立美術ギャラリー館長来館
- 9月1日～14日  
とびだせ！アジア美術館  
(福岡市立こども病院・南福岡特別支援学校)
- 9月 7日 招聘美術作家アウン・ミャット・テー氏来館  
(11月16日まで滞在)  
招聘美術作家キム・ジミン氏来館  
(11月15日まで滞在)
- 9月 17日 釜山市立美術館長来館
- 9月 18日 「釜山市立美術館コレクション展」開会式
- 10月 14日 アジア・リーダーシップ・フェロー来館
- 10月 21日 ハンガリー・ルードヴィッグ美術館長来館  
駐福岡大韓民国総領事来館
- 11月 13日 「現代中国の美術」展開会式
- 11月 22日 フランス大使館文化参事官来館
- 11月 30日 上海外灘美術館ARTMIA財団理事長来館
- 12月 6日 シンガポール国立ギャラリーと相互協力の覚書を締結
- 12月 28日 仕事納め(12/26～1/1まで休館)

2011年

- 1月 4日 仕事始め
- 1月 18日 インド総領事来館
- 1月 26日 平成23年度美術交流事業招聘者選考会
- 2月 17日 研究者クラリッサ・チキアムコ氏来館  
(3月28日まで滞在)
- 2月 20日 美術資料収集審査会
- 3月 29日 美術館協議会

概 要

アジア美術の独自の創造を目指す一助とするため、  
 アジア近現代美術を通して人々が集い、  
 互いに理解し、創造、発信するアジア美術の交流の場とする。  
 また、世界的に有数の質の高いアジア近現代美術作品の集積を生かし、  
 展示、収集のみならず、日常的なアジアとの交流、  
 調査研究活動を積極的に展開するとともに、  
 アジアの芸術家や研究者等と日本の芸術家、研究者、  
 市民が互いに創り、学びあうことにより、  
 新たな創造と相互理解を促す機会を提供する。

## 2 活動内容

### 1 交流事業

アジアの美術作家、研究者・学芸員を当館に一定期間招聘し、市民とともに公開制作を行ったり、研究成果を発表したり、また、地域や学校などに出向いてワークショップを実施するなど、様々な交流事業を推進することにより、市民のアジア美術に対する理解、関心を深め、地域文化の質的向上に努めるとともに、アジアの芸術文化の発展に貢献することをめざす。

- (1) アジアの美術作家との交流事業  
市民共同創作事業、ワークショップ、滞在制作展を実施し、市民との交流を図る。
- (2) アジアの研究者との交流事業  
アジア現代美術に関するフォーラムやワークショップ等の教育プログラムを通して市民との交流を図る。
- (3) 地域交流事業  
市民が気軽に参加しアジア文化を身近に感じることができるイベントを開催する。

### 2 展示事業

- (1) コレクション展示(アジアギャラリー)  
ジャンル別、テーマ別に紹介
- (2) 企画展示(アジアギャラリーほか)  
4つのシリーズ展「近代美術」「現代アジアの作家」「生活とアート」「アート横断」として紹介する。
- (3) 特別企画展(企画ギャラリー他)
  - ① 最新のアジア現代美術を紹介する「福岡アジア美術トリエンナーレ」展を3年毎に開催する。
  - ② アジアを中心とする幅広い時代や分野の特別企画展を開催する。

### 3 収集事業

- (1) 収集方針  
アジアの独自性を示す優れた作品を、近現代を中心に収集する。
- (2) 収集対象・範囲  
原則として、19世紀から現代までの近現代美術を中心とし、パキスタン以東、モンゴル以南、インドネシア以北以西の作品を収集する。

### 4 教育普及事業

- (1) あじびホール等での講演会、ワークショップ等の開催
- (2) 美術情報コーナーや図書閲覧室での資料・情報提供
- (3) アジア美術館の出版物等の制作
  - A. あじびニュース(年4回)
  - B. 交流事業記録集(年1回 ホームページで公開)

### 5 ミュージアム施策事業

ミュージアムウィーク事業  
 博物館・美術館の役割を広く知ってもらうために制定された「国際博物館の日」(5月18日)を記念して、平成21年度から実施している福岡ミュージアムウィークを拡充して行う。

### 6 調査・研究

1～5の事業の実施のためのアジア近現代美術の調査・研究

### 3 施設概要

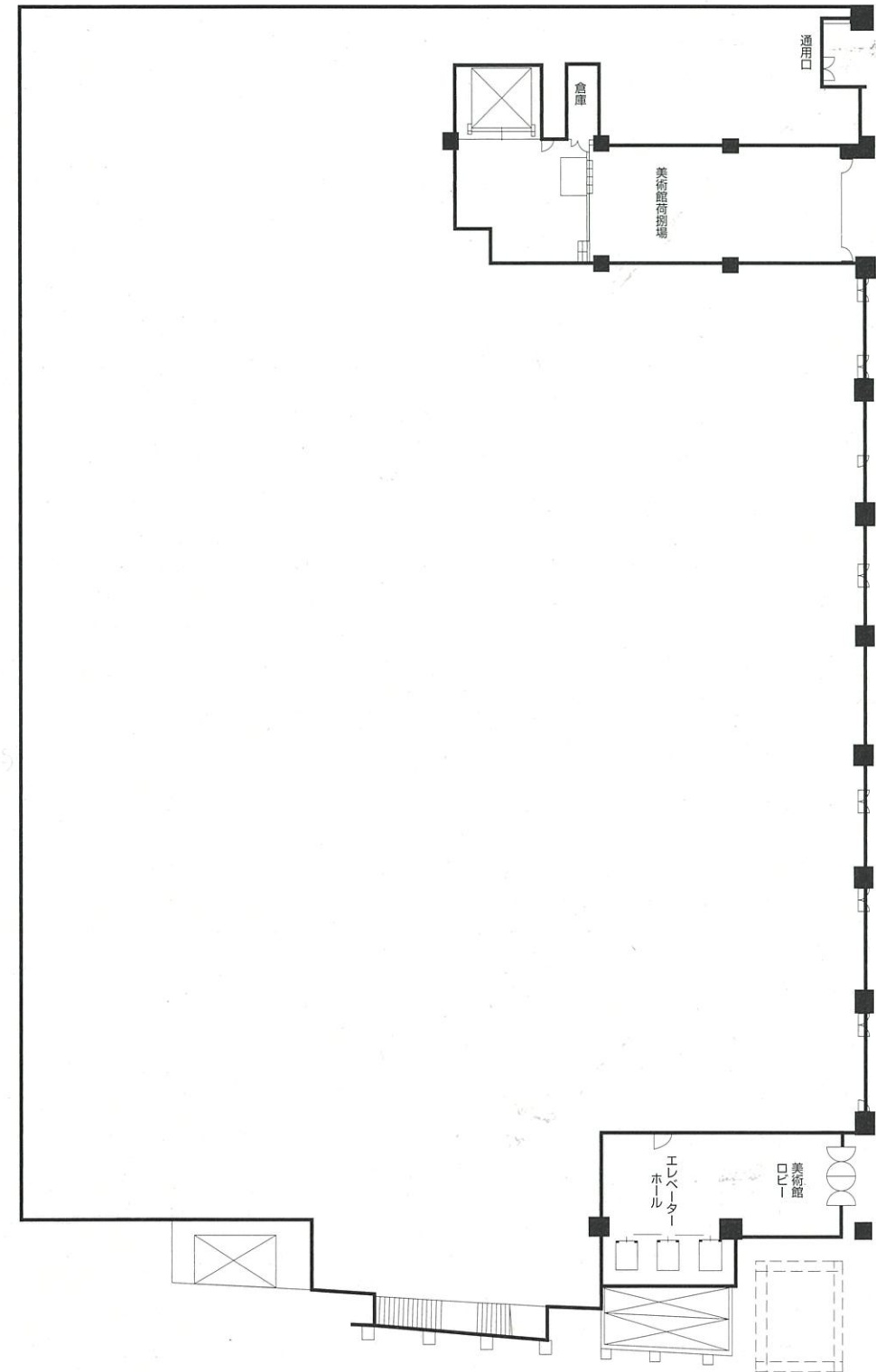
設置者 福岡市長  
 設立年月日 平成11年(1999)3月6日  
 名称 福岡アジア美術館  
 所在 福岡市博多区下川端町3番1号(博多リバレイン)  
 面積 建物面積151,595.91のうち区分所有  
 専有面積9,101.05㎡  
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下4階地上13階のうち  
 1階及び7階、8階  
 設計者 日建設計・観光企画設計社・都市未来ふくおか・西日本技術開発・設計共同企業体  
 取得額 保留床取得価額12,552,002千円

[各室面積表一覧] (単位:㎡)

地下1階	61.69
1,2,3号EVビット	31.19
13号EVビット	30.50
1階	398.34
1,2,3号EV	47.47
13号EV	36.60
美術館ロビー	52.01
EVホール	50.97
美術館荷捌場	66.53
倉庫	11.24
搬入車路	133.52
7階	4,233.33
企画ギャラリー	1,004.58
物入(1)	8.77
控室	23.01
ロビー(2)	61.69
機械室(3)	131.18
チャンパー(機3)	28.43
EVホール	47.36
階段	19.43
荷捌室	110.95
通路	335.79
便所前室	12.05
便所(客・男)	22.40
便所(客・女)	31.84
便所(客・車)	5.84
ロビー(2)	214.10
展示機材庫	56.55
チャンパー	23.38
裏通路	37.40
M7F機械室	59.40
機械室(2)	92.33
アジアギャラリー	1,110.56
ミュージアムショップ	77.60
商品倉庫	20.38
美術情報コーナー	125.52
彫刻ラウンジ	516.24
コーヒースタンド	14.39
中8階ホール	42.16
8階	4,407.69
1,2,3号EV機械室	56.11
格納庫(1)	171.00
収蔵庫(1)	152.02
準備室	87.60
交流スタジオ	223.30

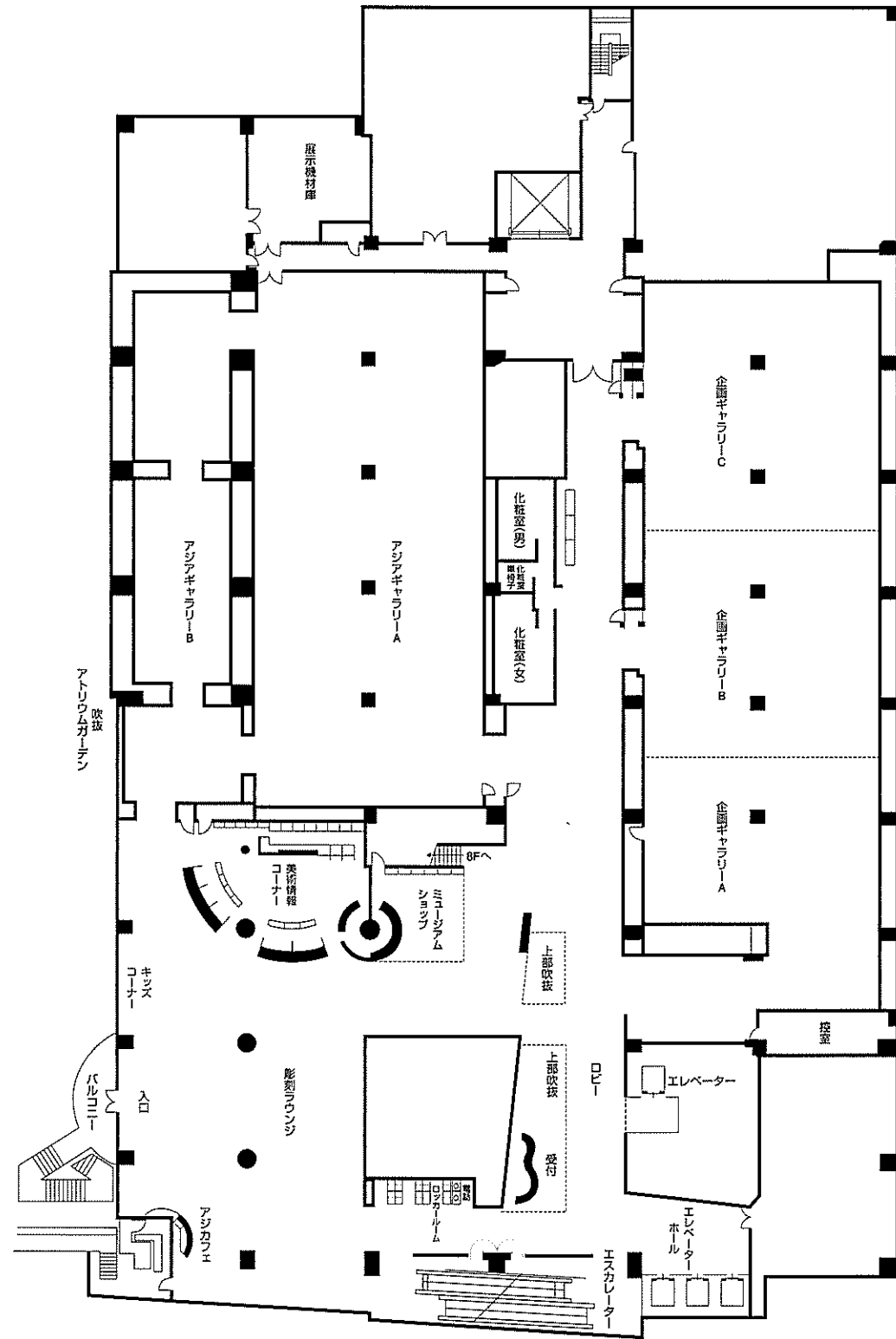
8階	暗室(1)	9.90
	倉庫(1)	23.70
	交流ギャラリー	369.54
	倉庫	19.11
	機械室(1)	128.96
	前室(機1)	26.13
	階段	14.82
	格納庫(2)	17.94
	撮影室	87.30
	暗室(2)	6.50
	便所(男・女)	7.02
	荷捌室	167.84
	警備室	14.85
	倉庫(2)	30.80
	あじびホール	159.53
	前室(あじび)	7.35
	前室(あじび)	5.39
	調整映写室	23.50
	ロビー	360.43
	収蔵庫(2)	252.27
	前室(収蔵2)	11.10
	機械室(4)	25.32
	映像資料室	35.20
	AVステーション室	52.49
	資料カード室	40.45
	学芸図書室	119.84
	図書閲覧室	44.14
	階段室	13.42
	便所(客・男)	18.44
	便所(客・女)	23.74
	便所(客・車)	6.77
	医務室	6.73
	授乳室	14.74
	便所(職・男)	17.54
	便所(職・女)	16.41
	女子ロッカー	14.24
	男子ロッカー	11.44
	給湯室	6.85
	物品倉庫	32.00
	印刷室	13.87
	監視員控室	30.88
	ボランティア室	45.95
	ミーティングルーム	41.02
	機械室(2)	22.87
	機械室(3)	144.90
	チャンパー(機3)	20.21
	倉庫(3)	22.20
	招待者用研究室(1)	32.76
	招待者用研究室(2)	32.79
	招待者用研究室(3)	32.79
	倉庫(4)	9.88
	会議室	122.63
	学芸研究室	81.75
	学芸・管理課	245.27
	館長室	41.48
	前室(館長)	8.53
	顧問室	30.33
	応接室	35.92
	休憩室	21.59
	脱衣室	7.70
	シャワー室	2.00
	通路	135.81
	廊下	290.79
合計		9,101.05

1F

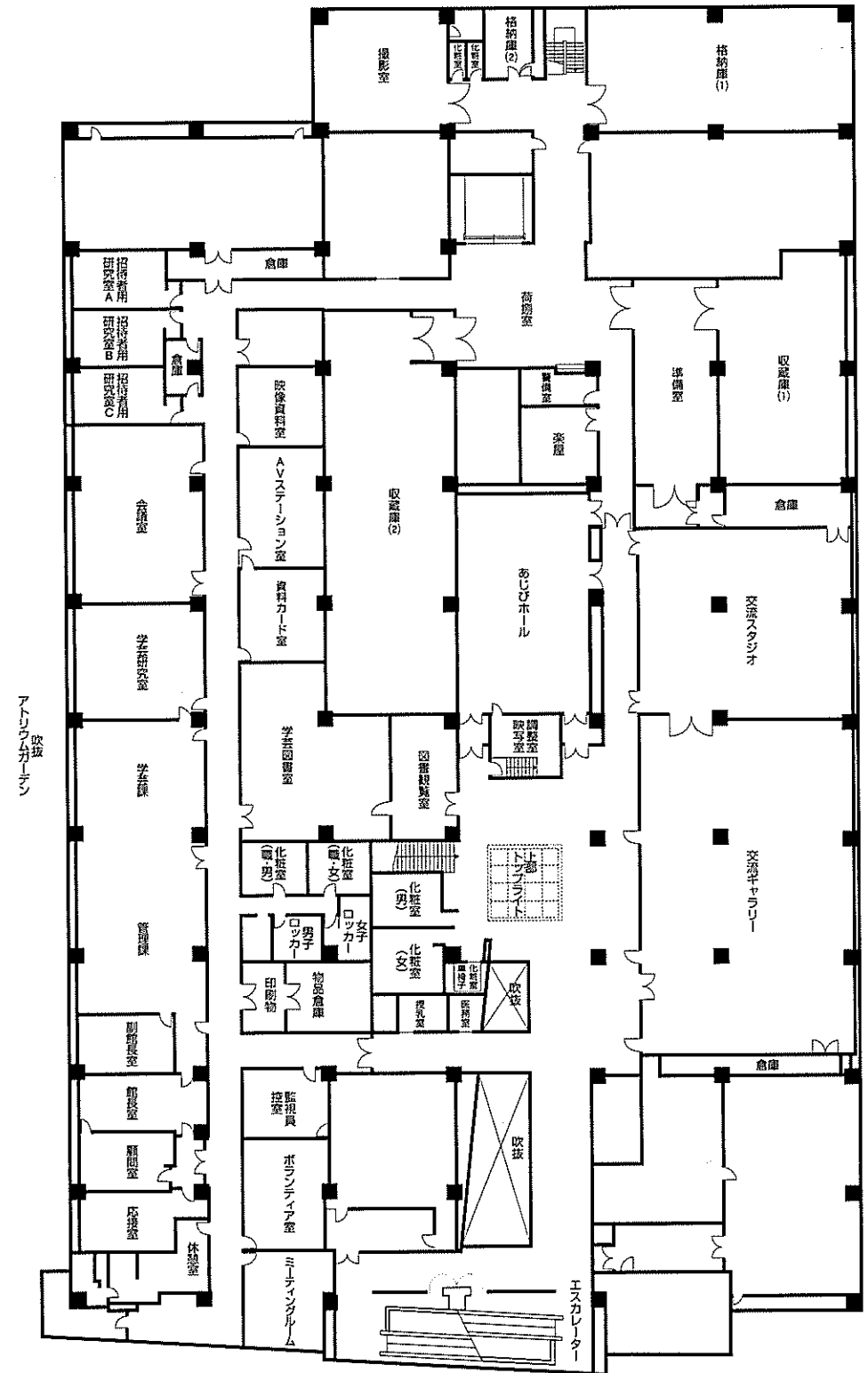




7F



8F



## 4 沿革

平成 4年(1992) 6月	市長がアジア近代美術館の建設意向を表明
平成 5年(1993) 7月	アジア美術館整備構想委員会の設置、開催(答申までに2回開催)
平成 7年(1995) 2月	アジア美術館整備構想委員会の答申 市長が下川端市街地再開発ビルでの設置を表明
平成 7年(1995) 3月	第1回アジア美術館建設専門委員会開催(開館までに7回開催)
平成 7年(1995) 4月	平成7年度当初予算に調査費を計上、福岡市美術館内に建設担当課の設置(1課2係4人)
平成 7年(1995) 11月	基本方針決定
平成 7年(1995) 12月	下川端地区市街地再開発組合と保留床売買に関する覚書を締結
平成 7年(1995) 12月	美術館用建物取得。一般会計補正予算、福岡市議会で原案可決
平成 8年(1996) 1月	下川端地区市街地再開発ビル起工
平成 8年(1996) 2月	第1回アジア美術館市民懇談会開催(開館までに5回開催)
平成 8年(1996) 3月	下川端地区市街地再開発組合と保留床売買契約書を締結
平成 8年(1996) 4月	建設担当課の増員(1課2係5人、参与及び担当部長の兼務発令)
平成 8年(1996) 8月	第1回アジア美術館資料収集審査会開催(開館までに4回開催)
平成 9年(1997) 3月	土地共有持分移転登記
平成 9年(1997) 4月	建設担当課の設置(2課3係8人)
平成 9年(1997) 7月	開館記念展「第1回福岡トリエンナーレ」(正式名称:第1回福岡アジア美術トリエンナーレ1999[第5回アジア美術展])実行委員会設立総会
平成10年(1998) 2月	正式館名を公募。「福岡アジア美術館」に決定 (応募件数4,079点[2,775人])
平成10年(1998) 2月	開館記念展の国際協力者会議開催
平成10年(1998) 9月	福岡アジア美術館条例制定
平成10年(1998) 10月	建設工事完了 竣工検査
平成10年(1998) 12月	建築物引渡し
平成11年(1999) 1月	福岡アジア美術館へ組織変更 (館長以下2課3係12人[嘱託5人]体制)、美術館へ事務所移転
平成11年(1999) 2月	建築物登記
平成11年(1999) 3月 1日	博多リバレイン竣工式
平成11年(1999) 3月 3日	福岡アジア美術館開館記念式典
平成11年(1999) 3月 6日 ~6月 6日	福岡アジア美術館開館、博多リバレイン開業 開館記念展「第1回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催
平成11年(1999) 5月	収蔵品を福岡市美術館から移転
平成11年(1999) 6月	収蔵品展示の開始
平成14年(2002) 3月21日	「第2回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催(6月23日まで)
平成15年(2003) 5月27日	観覧者100万人達成
平成17年(2005) 9月17日	「第3回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催(11月27日まで)
平成18年(2006) 3月20日	第3回アサヒビール文化芸術財団芸術賞受賞
平成19年(2007) 9月 6日	観覧者200万人達成
平成21年(2009) 9月 5日	「第4回福岡アジア美術トリエンナーレ」開催(11月23日まで)
平成22年(2010) 1月19日	平成21年度地域創造大賞(総務大臣賞)受賞

## 名簿

### 福岡アジア美術館美術資料収集審査会委員

水沢 勉	神奈川県立近代美術館企画課長
中村 英樹	名古屋造形芸術大学教授
後藤 新治	西南学院大学教授
ソボン・ロドボン	チェンマイ大学美術学部准教授(タイ)

### 福岡市美術館協議会委員(福岡アジア美術館を含む)

会 長	錦織 亮介	北九州市立大学名誉教授
副会長	濱砂 圭子	(株)フラウ代表取締役編集長
委 員	石川 正知	財団法人福岡文化財団専務理事
//	後小路 雅弘	九州大学教授
//	梅崎 薫	柏原中学校教頭
//	京谷 啓徳	九州大学准教授
//	後藤 新治	西南学院大学教授
//	小林 俊子	福岡市青少年団体連絡会議理事
//	辻 芳子	福岡市社会教育委員
//	松田 瑞恵	福岡市PTA協議会副会長
//	藤本 昌代	福岡市老人クラブ連合会理事
//	古田 秀人	那珂小学校長
//	古野 靖弘	社団法人福岡県美術協会理事長
//	松尾 孝司	株式会社西日本新聞社専任編集委員
//	室岡 祐司	(株)JTB九州地域活性化事業推進室長
//	山田 彰	福岡市美術展運営委員
//	米丸 政文	福岡西陵高等学校長
//	龍 秀美	秀巧社印刷(株)外国語チームチーフディレクター

### 福岡アジア美術館美術交流事業招聘者選考会委員

金堀 文孝	九州産業大学芸術学部長
後小路 雅弘	九州大学大学院教授
野田 恒雄	一級建築士・紺屋2023オーガナイザー
松尾 孝司	西日本新聞社専任編集委員
古田 秀人	福岡市図画工作科研究委員会委員長・那珂小学校長

福岡アジア美術館職員

館長	木下	晴夫
顧問	安永	幸一
副館長	中嶋	恒生
管理課長	五郎丸	保
管理係長	小林	正和
事務吏員	近藤	浩幸
事務吏員	星加	沙織
事務吏員	中島	和彦
嘱託員	村田	昭孝
嘱託員	堀川	道良
嘱託員	上原	豊
学芸課長	黒田	雷児
収集展示係長	ラウンチャイ	クン寿子
学芸員	金子	裕子
学芸員	五十嵐	理奈
交流係長	松浦	仁
学芸員	中尾	智路
嘱託員	古川	勝敏
嘱託員	蒲池	昌江
嘱託員	石松	紀子
嘱託員	堀川	理沙

発行 2011年6月27日  
福岡アジア美術館  
福岡市博多区下川端町3-1リハインセンタービル7・8階  
<http://faam.city.fukuoka.lg.jp>  
デザイン 湧上印刷株式会社  
印刷 福岡アジア美術館  
著作権 2011年(禁無断転載)



この紙は地球環境保護のため、再生紙を使用しています。

